

令和8年度 事業概要



国土交通省 九州地方整備局
大分河川国道事務所

索引

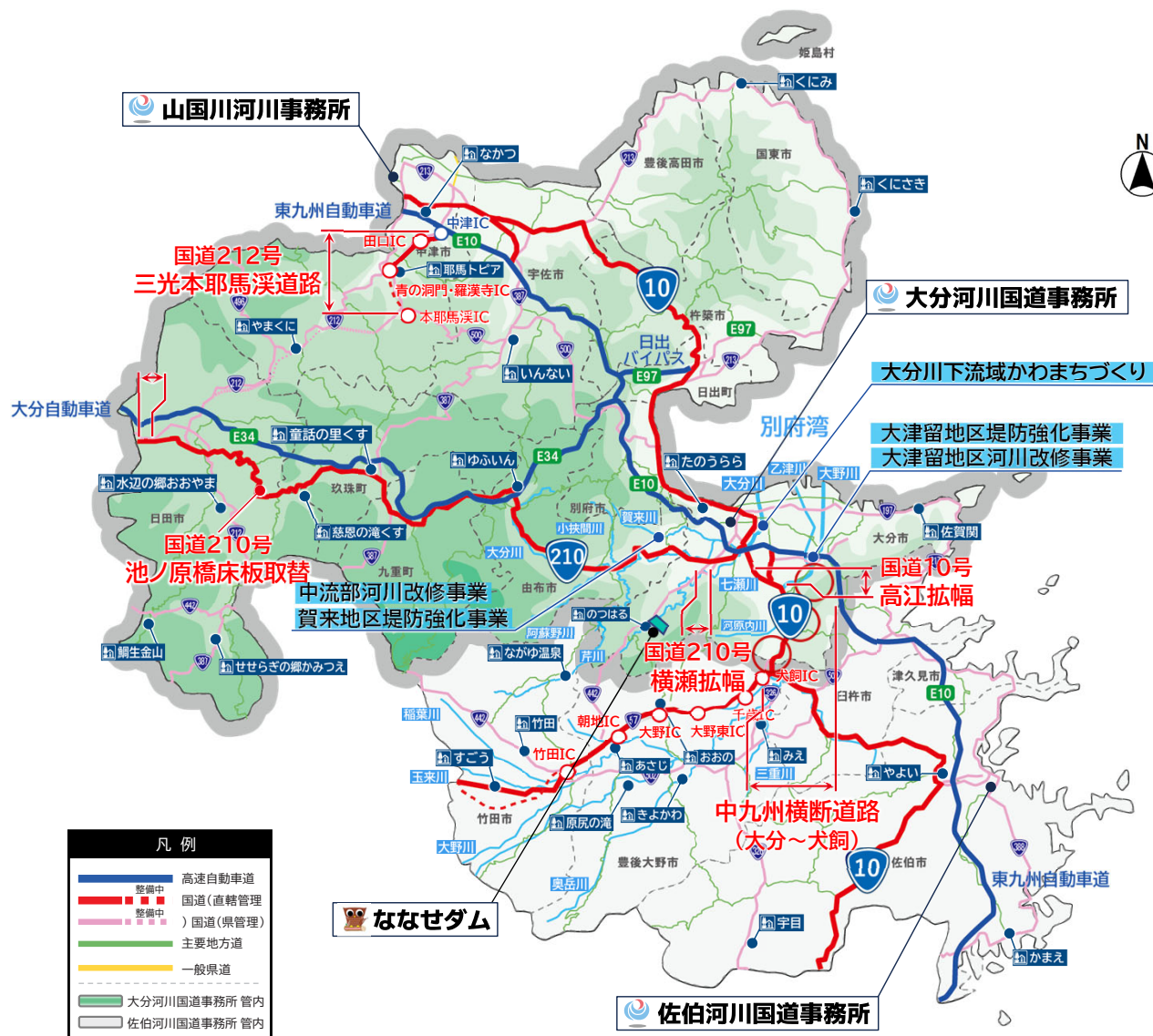
1	概要	02
	大分河川国道事務所の概要	02
2	河川	04
	大分川水系関連事業	05
	大野川水系関連事業	08
	ななせダム関連事業	10
	河川の維持管理事業	12
3	道路	13
	令和8年度の主な道路事業	14
	交通安全事業	18
	電線共同溝事業	19
	道路の維持管理事業	21
4	防災	24
	地域への防災支援	25
	過去の災害状況	28
	防災情報の提供	31
5	地域連携	34
	学習機会の提供	35
	川に関する検討会	36
	道と関わる3団体の連携	37
6	大分河川国道の歩み	40
	大分河川国道事務所の歴史	41
7	大分河川国道事務所管内図	43

大分河川国道事務所の概要

大分の暮らしを土台から支える 大分河川国道事務所

大分河川国道事務所は、県都大分市の中心部を流れて別府湾に流れ込む大分川・大野川の管理、ななせダムの管理、及び大分県内外の主要都市を結ぶ国道10号・210号などの整備や維持管理を行っています。

地方自治体や地域の方々などの多様な主体と密接に連携し、ソフト施策とも一体となって進め、地域の安全・安心な暮らしの実現や、円滑な交通確保による地域活性化、国土の発展・保全に貢献するため各事業を推進しています。



管内の市町村

市町村名	大分県	大分市	別府市	中津市	日田市	豊後高田市	杵築市
人口	1,071,281人	468,305人	111,201人	80,335人	57,738人	21,165人	25,243人
面積	6,340.62km ²	502.39km ²	125.34km ²	491.38km ²	666.03km ²	206.22km ²	280.08km ²

市町村名	宇佐市	由布市	国東市	姫島村	日出町	九重町	玖珠町
人口	48,774人	32,203人	23,553人	1,454人	26,943人	7,457人	12,785人
面積	438.99km ²	319.32km ²	318.09km ²	6.99km ²	73.26km ²	271.37km ²	286.60km ²

出典：人口は大分県統計調査課「大分県の人口推計」(令和8年2月1日現在)、面積は国土地理院「全国市町村別面積」(令和7年10月1日)を基に作成

組織図及び職員数

事務所長

副所長(事務)

副所長(技術)

副所長(技術)

総括保全対策官

契約事務管理官

用地対策官

工事品質管理官

地域防災調整官

保全対策官(2)

建設専門官(3)

建設専門官

専門調査官(3)

専門調査官(2)

用地官

建設監督官(2)

総務課

文書、職員の服務・給与・福利厚生及び一般事務

経理課

歳入・歳出、附帯・受託契約、請負契約、財産管理

用地課

河川、道路に関する用地取得・物件補償

工務第一課

河川工事の実施計画・設計及び工事の施工・監督
土木宮緒施設の設計及び工事の施工・監督

流域治水課

流域治水の推進
河川等に関する関係機関との連絡調整及び地域連携

河川管理課

河川の維持修繕及び許認可業務

ダム管理課

ななせダム及びその附帯施設の維持・管理

工務第二課

道路工事の実施計画・設計及び工事の施工・監督

計画課

道路に関する企画・基本計画及び調査
交通安全施設の計画・設計・工事

道路管理第一課

通行規制、占用許可、特殊車両の通行許可

道路管理第二課

道路維持管理の計画・設計・工事
電線共同溝事業の実施計画・設計・工事

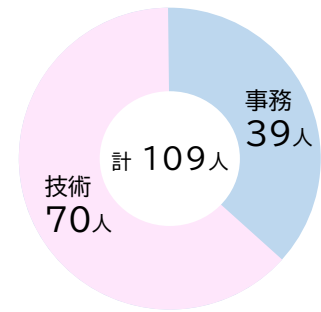
品質確保課

工事の発注に係る技術的な審査及び品質確保施策

防災課

災害対策機器及び防災システムの運営
機械及び電気通信設備の設計・監督・保守

職員構成



共通

道路関係

河川関係

大分出張所

大分川の管理及び工事の施工・監督

大野川出張所

大野川の管理及び工事の施工・監督

日田国道維持出張所

国道210号(日田市～由布市湯布院町)の管理及び工事の施工・監督

大分維持出張所

国道10号(別府市～大分市)及び国道210号(由布市庄内町～大分市)の管理及び工事の施工・監督

中津維持出張所

国道10号(中津市～日出町)の管理及び工事の施工・監督

概要

河川

道路

防災

地域連携

大分河川国道の歩み

人の暮らしとくに



当事務所が管理する大分川・大野川の二つの一級河川は、大分の発展の礎となってきました。憩いや交流の場でもある河川をより生活しやすく、より安全に利用できるよう、整備を進めています。

河川

大分川水系関連事業

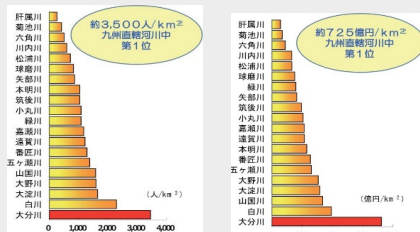
大分川の概要

大分川は、その源を由布市湯布院町の由布岳に発し、賀来川、七瀬川と合流し、大分市において別府湾に注ぐ幹川流路延長55km、流域面積650km²の一級河川です。

流域内の人口は約26万人で、大分県の社会、経済、文化の基盤をなしています。



【想定氾濫区域内人口密度】 【想定氾濫区域内資産密度】



出典：国土交通省・水管理・国土保全ホームページ
「一級水系における流域等の面積、総人口、一般資産額等について(想定氾濫区域)」(調査基準年：平成22年)

水源地及標高	大分県由布市湯布院町 由布岳 標高1,583m
氾濫防御区間	45km(大臣管理区間38km)
事務所管理区間	本川17.0km 支川七瀬川7.8km 支川賀来川2.0km 総延長26.8km
計画高水流量	(基準地点)府内大橋 基本高水流量5,700m ³ /s 計画高水流量5,000m ³ /s

大分川流域の過去の水害

水害の多くは台風や梅雨前線に起因する大雨によって発生しています。

令和2年7月豪雨では、堤防越水による氾濫が発生しました。

昭和28年6月洪水(梅雨前線)

大分市の明礪橋の水位は、26日14時に計画高水位を突破し、16時に最高水位に達しました。舞鶴橋が流出しました。



大分川舞鶴橋



大分市下郡地区(外水)

平成5年9月洪水(台風第13号)

台風第13号による大雨で、大分では観測史上第1位の最大1時間降水量81.5mm、観測史上第2位の日降水量414mmを記録しました。



賀来川小畑橋



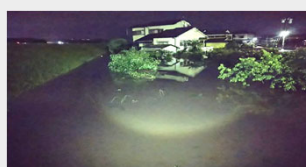
七瀬川露橋

令和2年7月豪雨(梅雨前線)

梅雨前線による大雨で、小野屋で観測史上第1位の最大1時間降水量88.0mm、5日から8日までの総雨量は448mm、同尻橋では観測史上最大水位を記録しました。



由布市下市地区(外水)



大分市脇地区(内水)

令和6年8月洪水(台風10号)

台風10号に伴う強い雨域が大分川および大野川流域にかかり、大分川流域では合棚雨量観測所(大分県別府市)において、24時間降水量が632mmを記録しました。



賀来川左岸 0k600



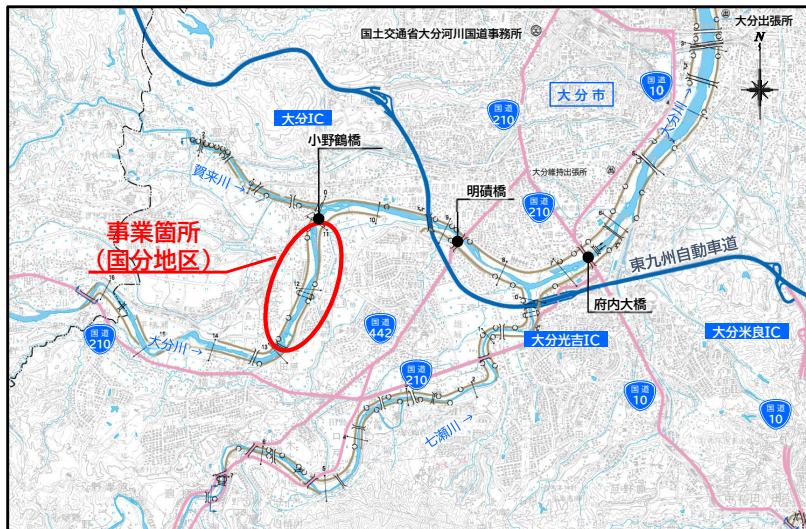
宮苑地点

大分川の整備計画・整備事業

国分地区河道掘削事業(令和7年度～)

大分川国分地区において、多様な水辺環境に配慮しながら、洪水を安全に流すための能力が不足している区間の樹木伐採・河道掘削を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

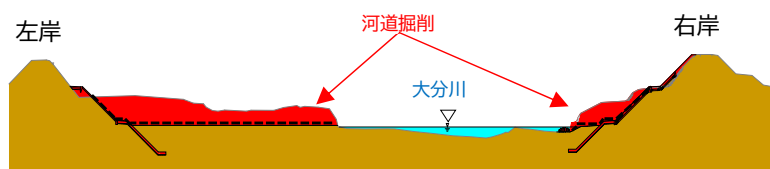
令和8年度は、引き続き河道掘削等を実施します。



工事状況 R8.3



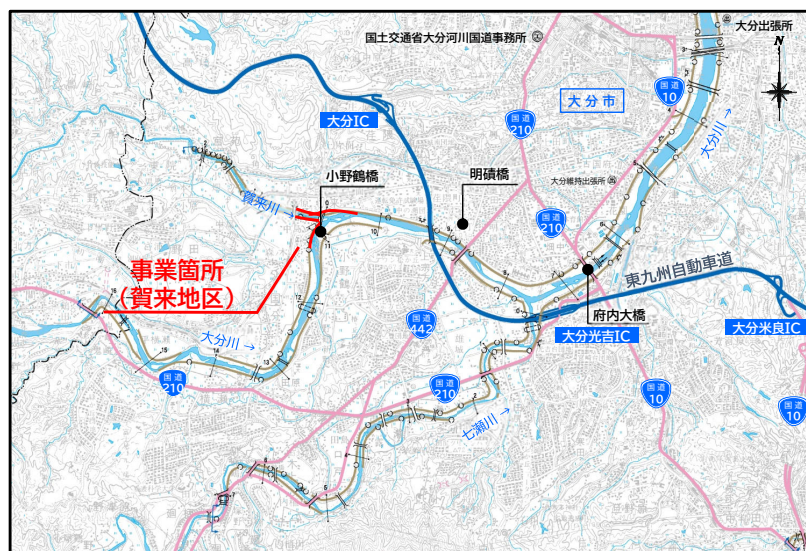
河道掘削等のイメージ



賀来地区堤防強化事業(令和2年度～)

賀来地区(大分川・賀来川合流付近)においては、特定区間の危険箇所であることや昭和28年の堤防決壊の実績を踏まえ、河川堤防強化を実施します。

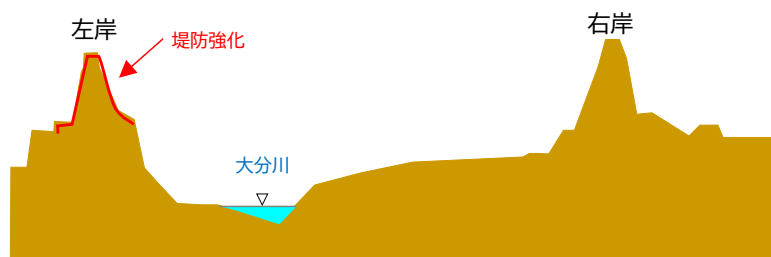
令和8年度は、引き続き堤防強化等を実施します。



工事状況 R8.3



堤防強化のイメージ



大分川の整備計画、整備事業

大分川総合水系環境整備事業(大分川下流域かわまちづくり 令和5年度～)

大分市の推進するスポーツによるまちづくりと一体となり、河川とまちが融合したスポーツ拠点および多様な利用が可能な魅力ある水辺空間を創出することにより、地域活性化を図ります。

事業期間:令和5年度～令和14年度

【整備予定箇所】



【整備の効果】

かわまちづくり事業により整備された親水護岸や高水敷では、ニーズや課題の把握、維持管理に向けた体制づくり、利活用メニューの試行等のため、継続的な社会実験を実施しています。

社会実験におけるアンケートでは、今後も河川空間を活用を望む声が多く聞かれます。



▲ 宗麟大橋下に整備された箇所ですケートボード体験イベントを実施(元町地区)



▲ 令和5年に完成した親水護岸。水辺アクティビティの拠点として利活用されている(舞鶴地区)



▲ 川裏のカヌー艇庫前から親水護岸への動線を考慮し階段を整備(舞鶴地区)

大野川水系関連事業

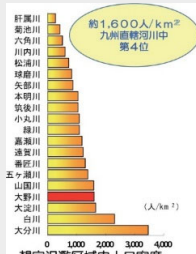
大野川の概要

大野川は、その源を宮崎県西臼杵郡高千穂町祖母山に発し、大分市大津留において乙津川を分派し、別府湾に注ぐ幹川流路延長107km、流域面積1,465km²の一級河川です。流域内の人口は約21万人で、流域の産業活動は三次産業の比率が高く、河口部付近一帯は工業地帯として発展しています。

【大野川流域図】



【想定氾濫区域内人口密度】



【想定氾濫区域内資産密度】



出典：国土交通省・水管理・国土保全ホームページ

「一級水系における流域等の面積、総人口、一般資産額等について(想定氾濫区域)」(調査基準年：平成22年)

水源地及標高	宮崎県西臼杵郡高千穂町 祖母山 標高1,756m
氾濫防御区間	50km(大臣管理区間45km)
事務所管理区間	本川19.8km 派川乙津川10.9km 支川判田川1.3km 支川立小野川0.3km 総延長32.3km
計画高水流量	(基準地点)白滝橋 基本高水流量13,500m ³ /s 計画高水流量11,100m ³ /s

大野川流域の過去の水害

水害の多くは台風や梅雨前線に起因する大雨によって発生しています。

平成29年9月洪水は、観測史上最大規模の洪水となりました。

昭和18年9月洪水(台風第26号)

台風第26号による大雨は下流平地部及び中流部に集中し、激大な大野川の水位上昇で、下流部の堤防は至るところで越流により決壊し、鶴崎町を中心とした平地部は浸水し大被害が生じました。

大分市大津留地区
(大野川8k400付近)



平成5年9月洪水(台風第13号)

台風第13号による大雨で、大分は日雨量414mm、最大1時間降水量は観測史上第1位の81.5mmを記録し、犬飼・大津留・高田橋の観測所では観測史上最高水位を記録しました。



大分市毛井地区



大分市竹中地区

平成17年9月洪水(台風第14号)

台風第14号は長時間激しい雨が降り続き、4日から6日までの総雨量は、竹田で418mm、大分で375mmを記録しました。



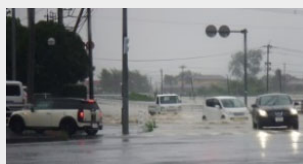
大分市岩舟地区



大分市利光地区

平成29年9月洪水(台風第18号)

台風第18号による大雨で、大野川流域では17日の早朝より夕方にかけて猛烈な雨となり、長谷川で日雨量571mmを記録し、白滝橋で観測史上最大流量の洪水となりました。



大分市毛井地区(内水)



大分市利光地区(外水)

大野川の整備計画・整備事業

大津留地区河川改修事業(令和2年度～)

大津留地区においては、気候変動に伴い激甚化・頻発化する自然災害を踏まえ、流域治水対策を推進するため、重点的・集中的に河床低下対策を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

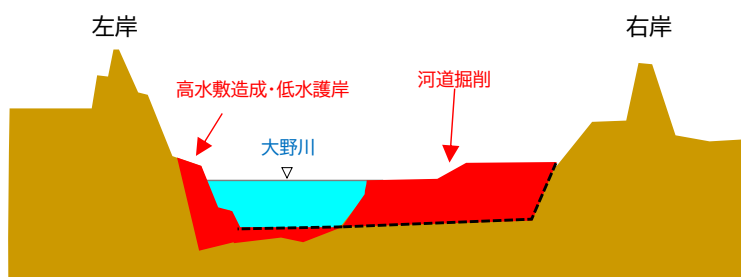
令和8年度は、河道掘削・高水敷造成・護岸整備等を実施します。



工事状況 R8.3



河床低下対策のイメージ



大津留地区堤防強化事業(令和2年度～)

大津留地区においては、平成29年9月の台風第18号洪水等による河岸侵食の状況や昭和18年の堤防決壊の実績を踏まえ、河川堤防強化を実施します。

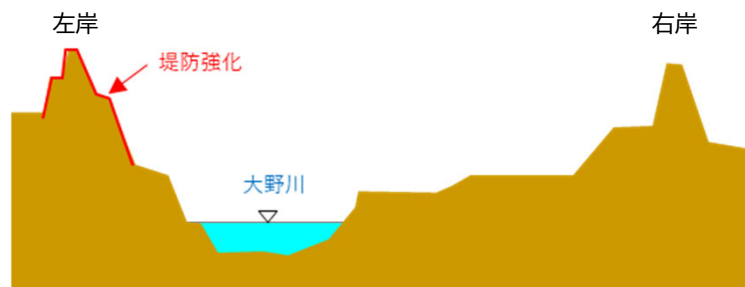
令和8年度は、引き続き堤防強化等を実施します。



工事状況 R8.3



堤防強化のイメージ



河川の維持管理事業

大分川・大野川の維持管理

河川堤防や樋門・樋管、排水ポンプ場などの河川管理施設が通常時や災害時に的確に機能するよう、定期的又は必要に応じて維持・補修・更新を行うとともに、老朽化した樋管等の省人化のためのフラップゲート改良を実施しています。

河川堤防では、法面補修や河川巡視、堤防除草などの日常的な管理のほか、洪水時に支障となる河川内の樹木の管理を実施します。また、水門等の河川管理施設の操作に支障となる堆積した土砂や塵芥を撤去します。

ゲートの無動力化

老朽化した小規模な樋門等の改良を行い、構造物の長寿命化及び省人化を図っています。

更新前



更新後(人による操作不要)



河川における施設点検

防災面や安全面、環境面などの観点から、総合的かつ適正に河川を管理するため、多様な関係者との合同点検を実施しています。

水門等の現地一斉点検

出水期前に大分川・大野川の水門等の施設及びその周辺の状況について消防団と合同で点検を実施しています。



大分川・大野川安全利用点検

河川利用者が増える夏休みの前に、河川利用空間の安全点検を実施しています。

許可工作物等の出水期前点検

地域の安全性確保に努めるため、大分川・大野川水系の許可工作物を対象に出水期前に点検を実施しています。



許認可関係

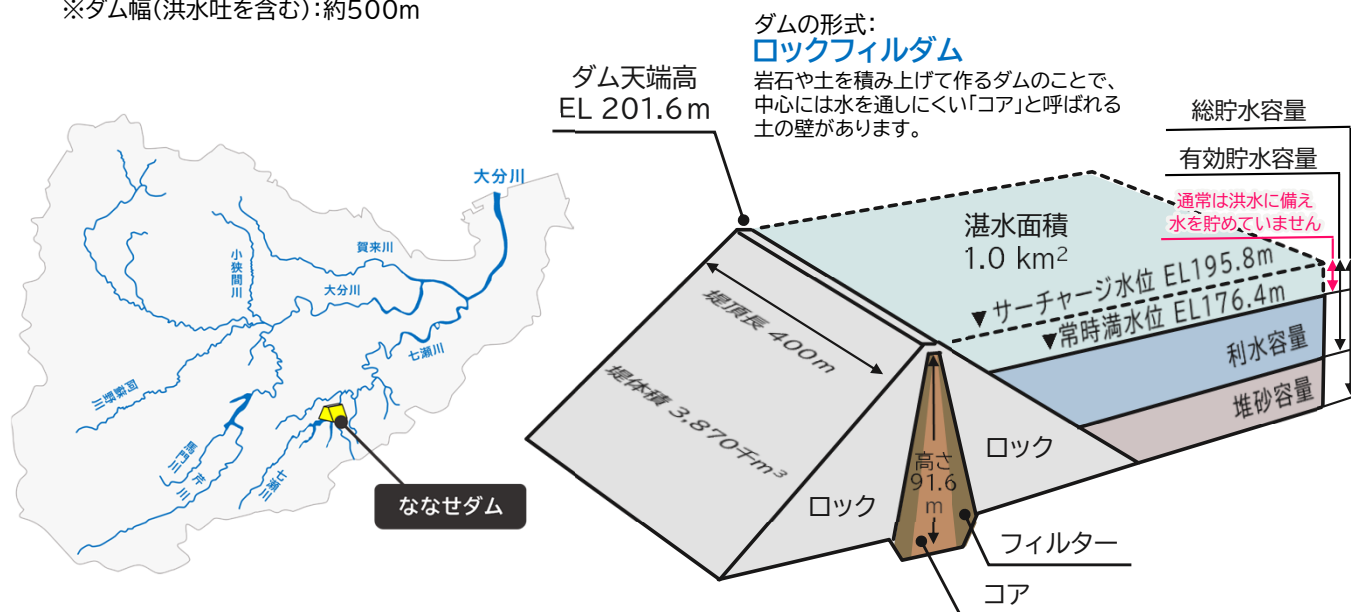
川はみんなの財産であり、釣り、散策など、他の利用者や近隣住民の迷惑・河川管理上支障にならない範囲で自由に使用できますが、乗り入れ口の設置や集会等、土地の形状を変更したり他の河川利用者を排除したりする場合は使用目的によっては許認可の手続きが必要です。

ななせダムの維持管理事業

ななせダムの概要

位置	左岸:大分市大字下原地先 / 右岸:大分市大字下原地先				
河川名	大分川水系七瀬川	堤頂長	400m※	利水容量	8,100千 m^3
ダムの形式	ロックフィルダム	堤体積	3,870千 m^3	堆砂容量	1,600千 m^3
集水面積	38.0 km^2	総貯水容量	24,000千 m^3	ダム天端高	EL 201.6m
湛水面積	1.0 km^2	有効貯水容量	22,400千 m^3	サーチャージ水位	EL 195.8m
堤高	91.6m	洪水調節容量	14,300千 m^3	常時満水位	EL 176.4m

※ダム幅(洪水吐を含む):約500m



ななせダムの目的

洪水調節

◆ 流域内の洪水調節施設と合わせて、大分川沿川の地域を洪水による被害から守ります。

ダムがないと...

大雨による川の増水時、水がそのまま下流域へと流れてしまうと、洪水による被害が発生する場合があります。



ダムがあると...

上流に降った大雨をダムでいったんため込んで、洪水調節を行うことで、洪水による被害を防ぎます。



河川環境用水

◆ 雨が降らない日が続いても、ダムに貯めた水を補給することで、川の水量を保ちます。

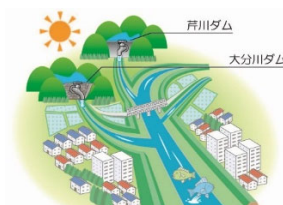
ダムがないと...

日照りが続いて川の水の量が少なくなると、水辺の生き物が生息しにくくなります。



ダムがあると...

必要な時にダムから水を補給することで、水辺の生き物が安心して生息できます。



水道用水

◆ 川への流量が豊かな時にダムへ水を貯め、必要な時に供給することで、新たな水資源を確保します。

ダムがないと...

渇水の時に、減水や断水になることがあります。



ダムがあると...

ダムに貯めた水を利用して、水道の水を安定的に利用できます。



●ただし、ダムも万能ではありません。目標とする規模を上回る洪水の流入や渇水に対しては、対応できない場合もあります。

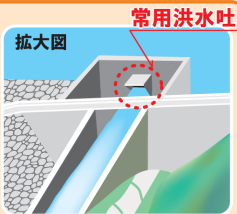
洪水調節の仕組み

通常時は、下流へ水を流すため、取水施設よりトンネル内の管を通して川へと放流されます。
大雨が降ってダムに流れ込む水量が増えた場合には、ダム湖内に水を貯めながら洪水吐より下流へ放流を行います。

※自然調節方式

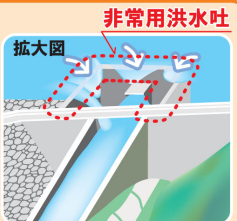
ダム貯水池の水位が洪水吐まで上昇したとき洪水吐から自然に水が流れ出す方式

大雨が降ると、穴を通して水が流れていきます。この部分を常用洪水吐といいます。



さらに大雨になり...

ダムに流れ込む水量が増え、自然に水位があがり、三面の非常用洪水吐から流れていきます。



ダムの維持管理

ダムが安全に機能するように、ダムの堤体や設備の点検・修繕を実施しています。

また、ダム湖に流れ込む流木を貯水池内で回収することで、大雨時に下流へ流出しないよう未然に防止します。

大雨によってダムの貯水位が高くなり放流量が増える際は、事前に地域の方々への放流量増加のお知らせや関係機関との情報共有を行っております。

◆操作室



◆流木回収作業

【船による流木回収】



【回収された流木】



生活及び地域振興の 基盤として



各地域をつなぐ基軸として、物流、商業、観光、地域産業等を支え、自動車、自転車、歩行者…大分に住む・大分を移動する多くの人々にとって、より安全でスムーズに移動できる道路を目指して、整備を行っています。

道路

号線	起点・終点	総管理延長(km)	管理延長(km)	通過市町村
10号	中津市三光佐知	(8.5)	[4.4 宇佐道路]59.8	中津市、宇佐市、杵築市、日出町 別府市、大分市
	～大分市大字上戸次字川原	104.1	(4.1 大分南バイパス) 44.3	
210号	日田市大字川下 ～大分市大字宮崎	97.0	70.4 26.6	日田市、玖珠町、九重町、由布市(湯布院町) 由布市(庄内町、挾間町)、大分市
合計		(8.5) 201.1		

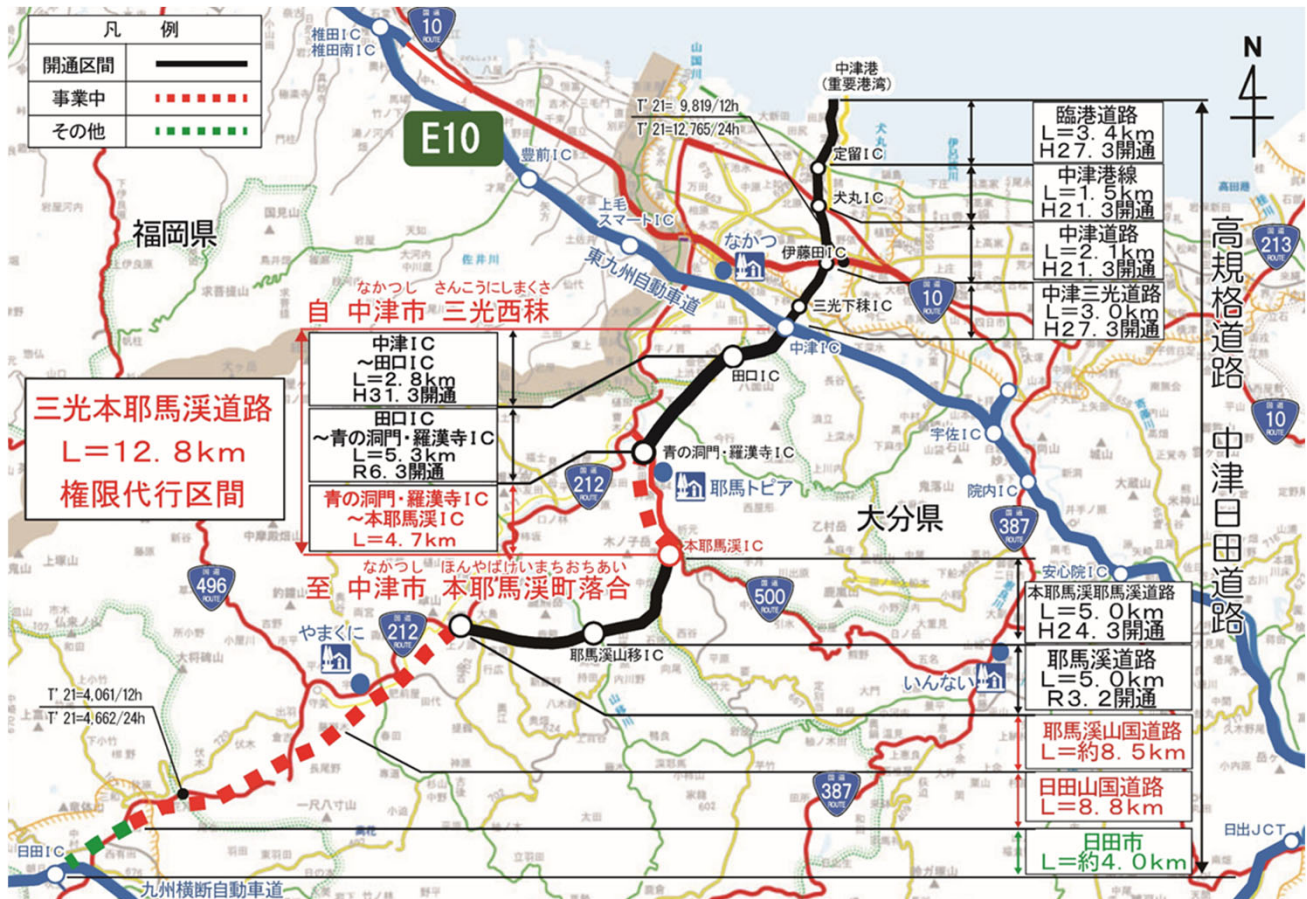
令和8年度の道路事業（事業中）

国道212号 三光本耶馬溪道路(中津市 L=12.8km)

中津日田道路は、重要港湾中津港と日田地域を結ぶ延長約50kmの高規格道路として平成6年12月に計画路線に指定された道路です。

そのうち三光本耶馬溪道路は、中津日田道路の一部を構成し大分県中津市三光から中津市本耶馬溪町に至る延長約12.8kmの道路です。

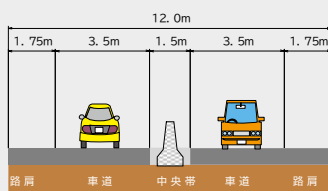
令和8年度は道路設計及び工事を推進します。



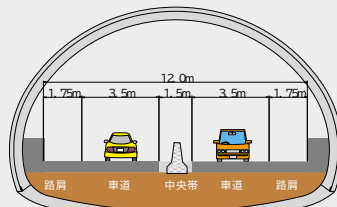
工事状況 R8.7



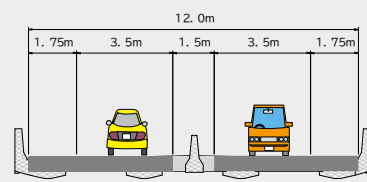
【完成断面】



一般部



トンネル部

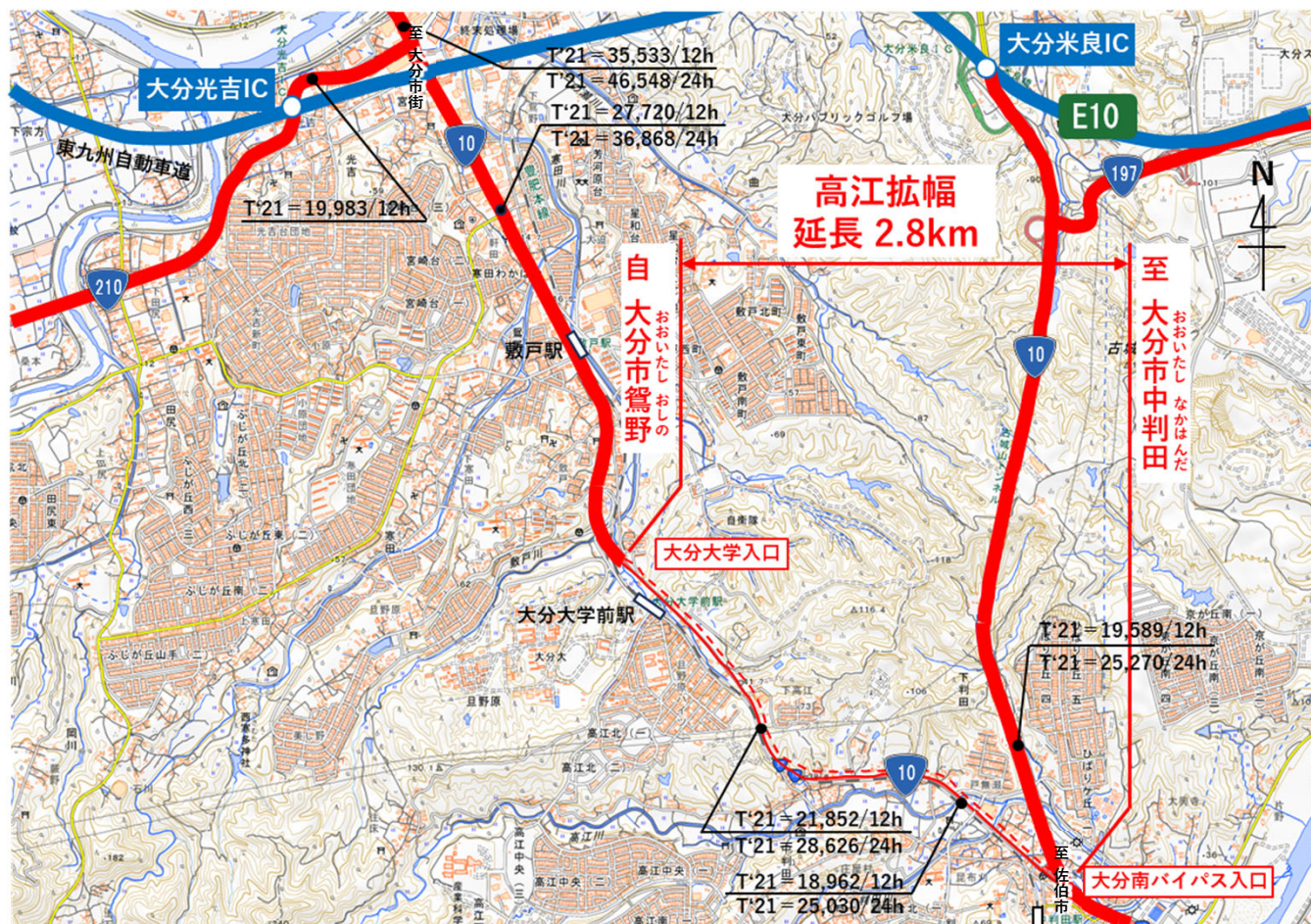


橋梁部

概要

高江拡幅は、交通混雑の緩和や、交通安全性の向上、救急医療活動の支援、安全な歩行空間の確保等を目的とした、延長2.8kmの拡幅事業です。

令和8年度は道路設計及び用地買収、工事を推進します。



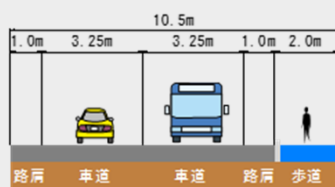
工事状況 R7.4



工事状況 R8.6



【現況断面】



【完成断面】

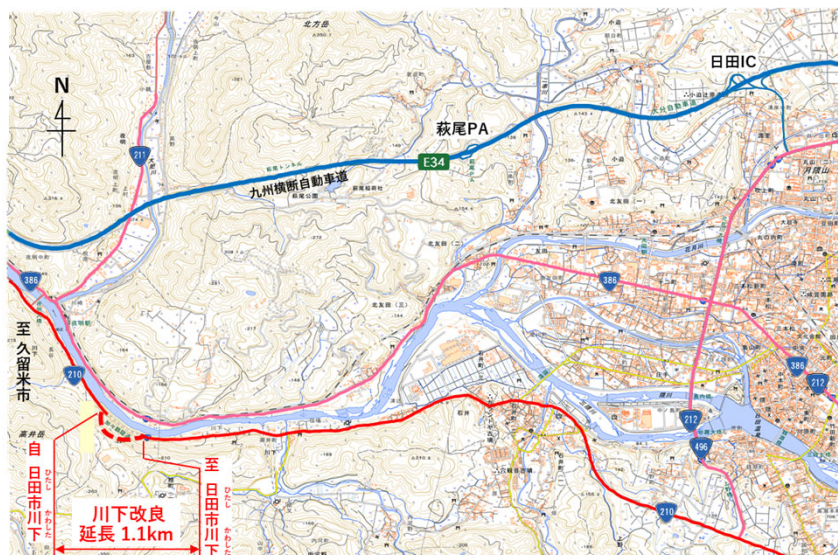


国道210号 川下改良 (日田市 L=1.1km)

川下改良は国道210号大分県日田市と福岡県うきは市の県境部に位置する、三隈川と崩落の危険性がある崖に挟まれた国道の改良事業です。

川下改良は、トンネル新設により災害を未然に防止し、道路利用者の安全・安心の確保を目的としています。

令和8年度は道路設計及び工事を推進します。

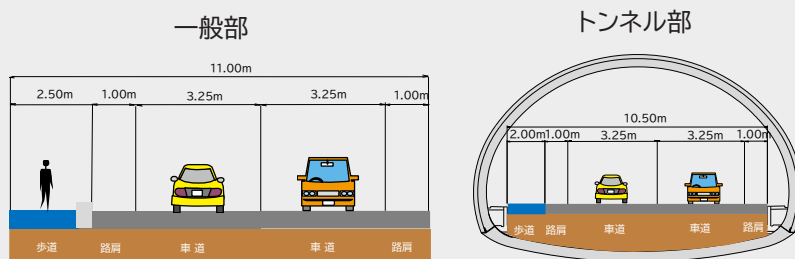


工事状況 R8.6



久留米市側 坑口

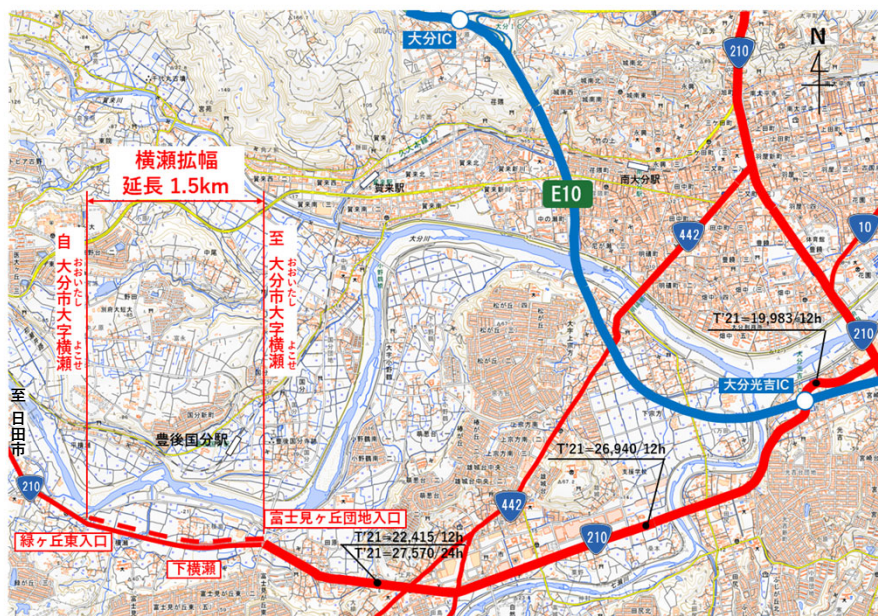
【完成断面】



国道210号 横瀬拡幅 (大分市 L=1.5km)

横瀬拡幅は、交通混雑の緩和や、交通安全性の向上、救急医療活動の支援、安全な歩行空間の確保等を目的とした、延長1.5kmの拡幅事業です。

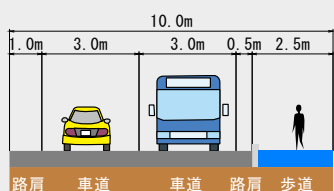
令和8年度は道路設計及び用地買収、工事を推進します。



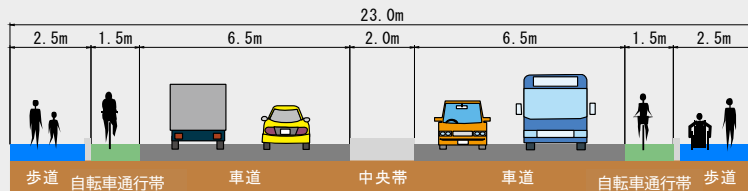
工事状況 R8.4



【現況断面】

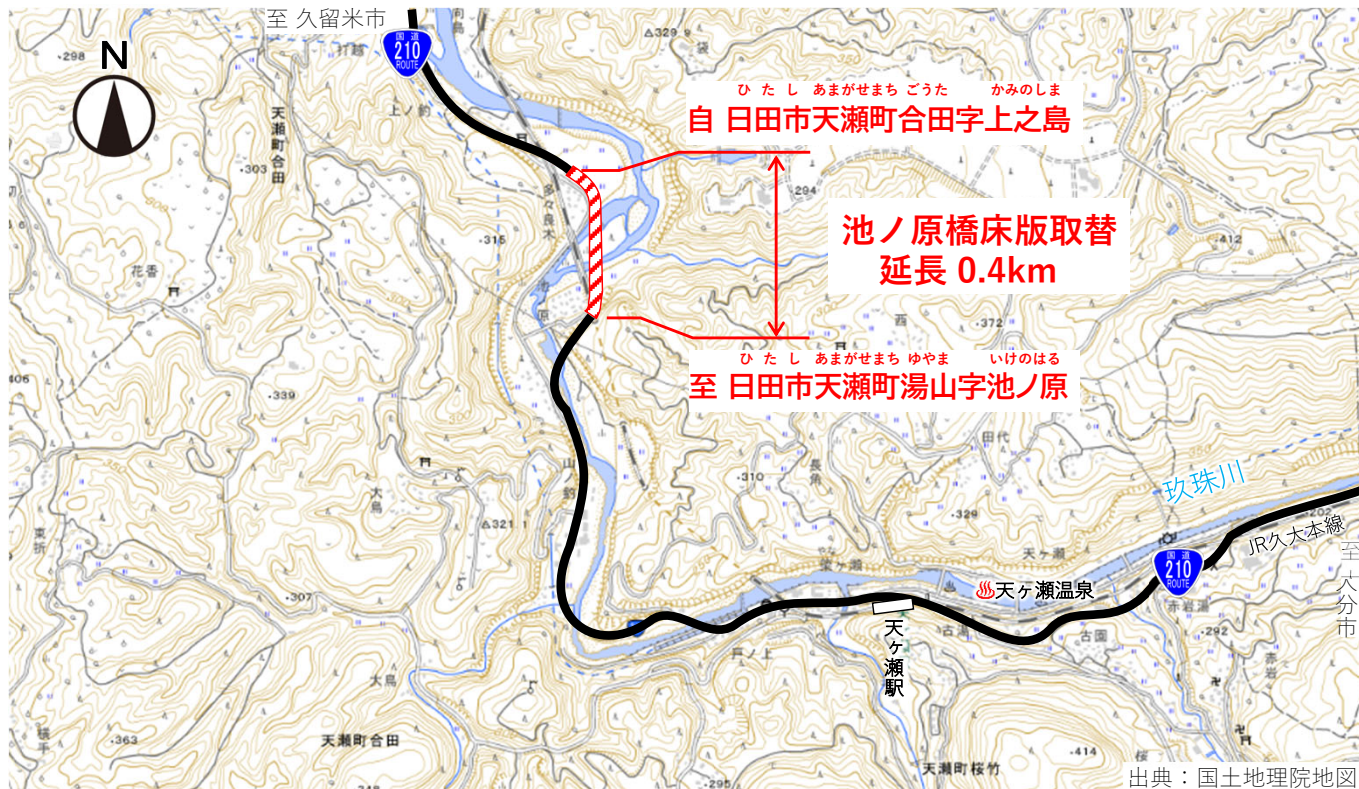


【完成断面】



国道210号 池ノ原橋床版取替（日田市 L=0.4km）

国道210号池ノ原橋床版取替事業は、土砂化やひび割れ等の損傷が著しい床版を取り替えることで国道210号の重要物流道路や第一次緊急輸送道路としての安全性・信頼性の機能確保を目的とする事業です。令和8年度は、道路設計を推進します。



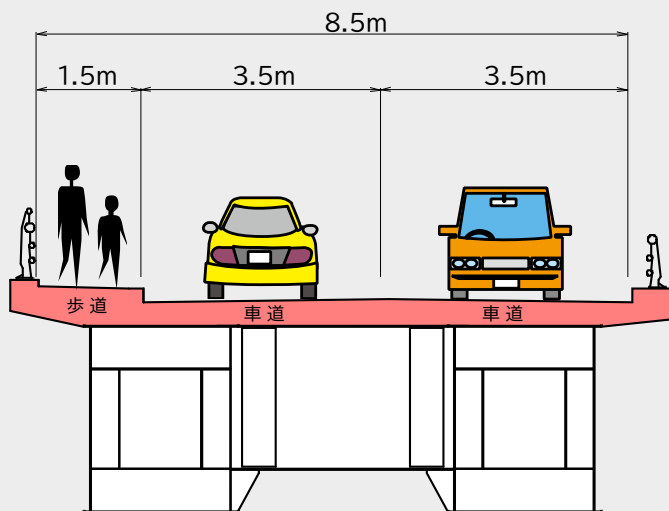
【橋梁全景】



【損傷状況】



【完成断面】



床版取替

令和8年度の道路事業（調査中）

概要

河川

道路

防災

地域連携

大分河川国道の歩み

18

中九州横断道路(大分～犬飼)（大分市～豊後大野市）

中九州横断道路(大分～犬飼)は、大分市と熊本市を結ぶ延長約120kmの中九州横断道路の一部区間として計画され、大分地域と熊本地域とを相互に連絡する広域的なネットワークの形成を目的として検討を進めていく道路です。両地域の連絡性が高まることで、物流の効率化や、災害に強いネットワークの形成が期待されます。

令和3年度より、概略ルート・構造等の検討(計画段階評価)に着手しており、令和5年度に計画段階評価が完了しました。令和6年度においては、環境影響評価の方法書の公表を行い、令和7年度に都市計画の手続きに着手しました。

令和8年度は、引き続き環境影響評価及び都市計画の手続きを推進します。



環境影響評価の手続き

配慮書
R5.12
公表
事業の位置・規模等の検討段階で、環境保全のために適正な配慮をしなければならない事項について検討を行い、その結果をとりまとめた図書です。

対応方針の決定 R6.3

方法書
R6.8
公告
どのような項目について、どのような方法で調査・予測・評価をしていくのかを示した図書です。説明会を開催し、地域の皆様等のご意見をお伺いします。

調査
測定や観察など

予測
事業を実施した場合の環境変化を予測

評価
実行可能な範囲内でできる限り対策がとられているか、基準・目標等を達成しているかを評価

準備書
R8.6
公告
調査・予測・評価・環境保全措置の検討結果を示し、環境の保全に関する考え方をとりまとめた図書です。説明会を開催し、地域の皆様等のご意見をお伺いします。

評価書
準備書に対する意見を踏まえて検討し、必要に応じ、準備書の内容を見直した図書です。

都市計画の手続き R8.1～

都市計画素案
ルート素案について、公聴会等を開催し、地域の皆様等のご意見をお伺いします。

都市計画の案
都市計画の案を縦覧し、地域の皆様等のご意見をお伺いします。

都市計画審議会

都市計画の決定

地域の皆様等

意見

意見

意見

意見

電線共同溝事業

国道10号及び210号における無電柱化対策

国道10号及び210号において「緊急輸送経路の確保」、「安全で快適な通行空間の確保」、「都市景観の向上」を推



進するため電線共同溝事業を実施しています。



交通安全事業

国道10号及び210号における交通事故対策

国道10号及び210号における交通事故対策として「事故危険箇所」「事故ゼロプラン」による交差点改良や登坂車線整備及び通学路の交通安全の確保として「通学路対策(合同点検)」による歩道整備、簡易パーキングの整備を実施しています。

【令和8年度の主な事業箇所】



国道10号南宇佐
歩道整備

通学路における通学時の
安全確保
場所:宇佐市南宇佐伏田
延長:400m
事業化年度:令和2年度
事業内容:歩道整備



国道10号西大分
自転車通行空間整備

サイクルツーリズムにおける
通行時の安全確保
場所:別府市山家~大分市生石
事業化年度:令和4年度
延長:7,200m
事業内容:自転車通行空間整備



国道210号庄内
登坂車線整備

交通事故対策としての登坂車線
の整備
場所:由布市庄内町
延長:1,100m
事業化年度:平成29年度 事業
内容:登坂車線整備



国道10号
畑中交差点改良

交通事故対策として交差点
形状の見直し
場所:大分市畑中
事業化年度:平成13年度
事業内容:交差点改良

道路の維持管理事業

概要

河川

道路

防災

地域連携

大分河川国道の歩み

22

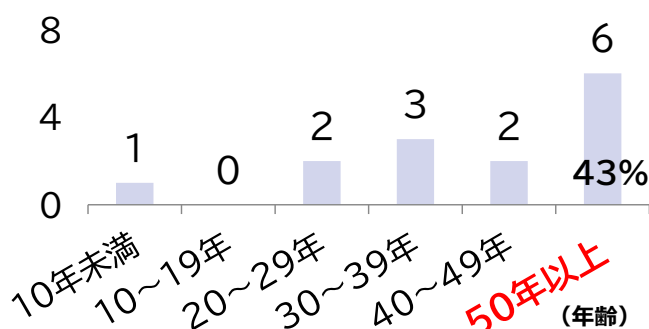
日常的な維持管理

道路構造を保全し、道路の安全性と交通の円滑化を図るため、日常的に道路の維持管理を行っています。道路の清掃や植栽管理をはじめ、路面、橋梁、トンネル、照明灯、トンネル消火設備などの道路施設の多様な損傷を発見するための道路巡回を実施し、発見された損傷箇所の維持補修を実施しています。また、低温時や降雪時には道路の凍結対策を実施しています。

道路施設の長寿命化対策

高齢化が進む橋梁等の道路施設の長寿命化を図るため、施設の点検を実施するとともに、損傷箇所については補修等による予防保全を確実に進めています。

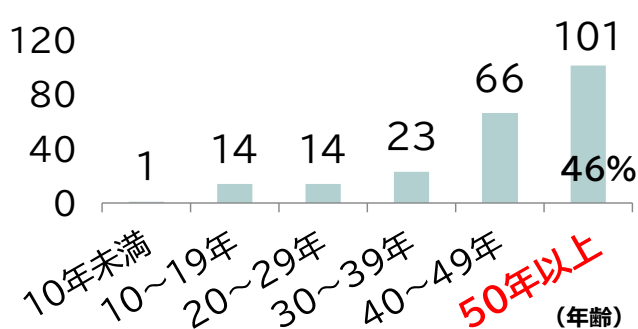
(数) 【管内のトンネル平均年齢(2026.4時点)】



管内のトンネル平均年齢は41歳

○大分河川国道事務所が管理するトンネルは、14トンネル(日田国道維持出張所管内9トンネル、大分維持出張所管内5トンネル)です。
○トンネルについては、建設から50年以上経過したものが約43%を占め、平均年齢は43.2歳です。
○更に、大分河川国道事務所管内の50年以上経過したトンネルは、10年後には57%、20年後には79%まで増加していきます。

(数) 【管内の橋梁平均年齢(2026.4時点)】



管内の橋梁平均年齢は46.8歳

○大分河川国道事務所が管理する橋梁は、219橋(中津維持出張所管内84橋、日田国道維持出張所管内68橋、大分維持出張所管内67橋)です。
○橋梁については、建設から50年以上経過したものが約46%を占め、平均年齢は47.9歳です。
○更に、大分河川国道事務所管内の50年以上経過した橋梁は、10年後には76%、20年後には87%まで増加していきます。

橋梁長寿命化修繕計画に基づく点検・補修の実施

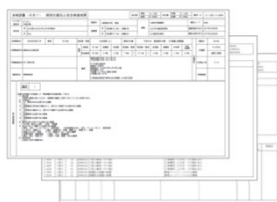
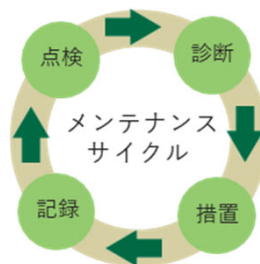
道路インフラの老朽化対策の本格実施に向け、点検・診断・措置・記録の業務サイクルを通して、長寿命化計画の内容を充実し、予防的な保全を進めるメンテナンスサイクルを構築し、道路構造物の適切な維持管理を行います。



定期的な点検し、損傷状況を把握。



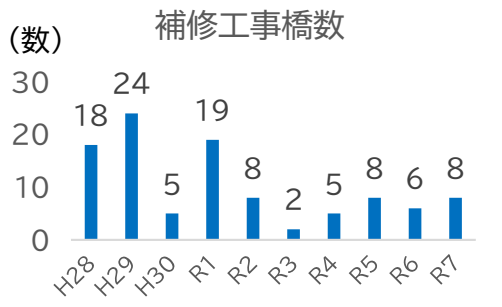
定期点検結果に基づき損傷原因に関する所見をまとめ、対策判定し、補修等の計画を策定。



各種点検結果や補修等の履歴を記録保存。



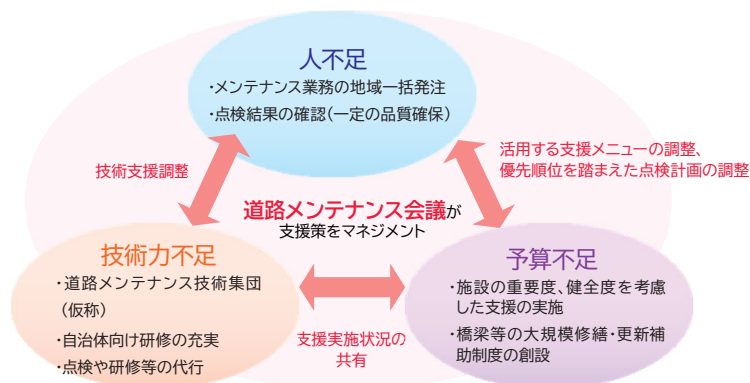
補修等の計画に基づき、効率的に補修を行う。



メンテナンスを回す仕組みを構築

県内の道路インフラの課題を継続的に把握・共有するとともに効果的・効率的に老朽化対策を推進するため、市町村の3つの課題(人不足・技術力不足・予算不足)に対し、国と大分県と連携して支援方策を検討しながら、それらを活用・調整するため『道路メンテナンス会議』を設置しています。

【メンテナンスサイクルを回す仕組み】



大分県道路メンテナンス会議



点検支援技術を活用した点検



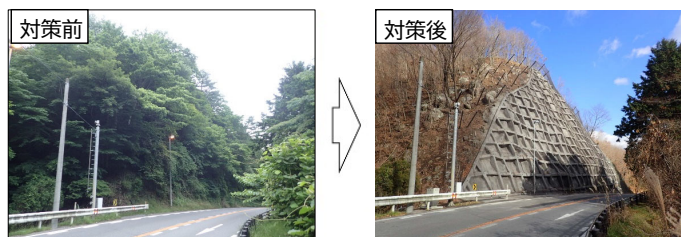
自治体支援として講習会を開催

道路施設の防災・耐震対策

大規模な災害(地震・豪雨等)が発生した場合であっても道路施設の重大な損傷を防止し、災害後の人命救助や物資輸送などに活用される緊急輸送道路が確保されるよう対策を進めています。

■法面对策

法面等について点検を行い、豪雨時などに法面崩壊を防止するための対策。



【法面防護対策】コンクリート法枠

■橋梁耐震対策

地震時などに橋梁の倒壊・落橋、さらには重大な損傷を防止するための耐震対策。



【橋脚の耐震補強対策】
(コンクリート巻立て)

【橋脚桁の落橋防止対策】
(水平力分担装置の設置や沓座拡幅)

道路に関する許認可(特車許可)

【特殊車両の交通】

幅、長さ、重さ等「一般的制限値」を超える車両(特殊車両)を通行させる場合には、通行許可申請が必要です。許可申請にあたっては、インターネットを利用してオンラインで申請ができます。詳しくはホームページをご覧ください。



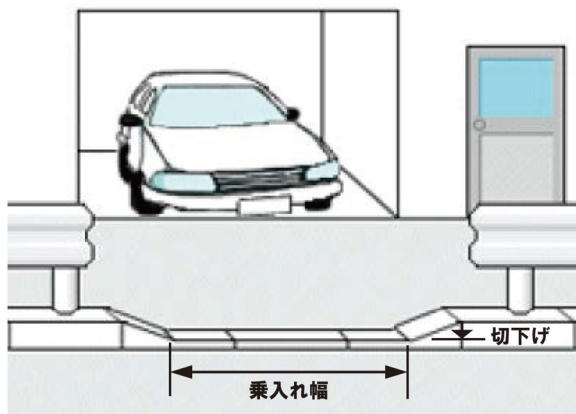
<https://www.tokusya.ktr.mlit.go.jp/PR/>



道路に関する許認可(承認工事・占用許可)

1 乗入れ口等の工事

- ◆ 自らの必要に基づいて、車両の出入りのための歩道の切り下げ、ガードレールの撤去、法面埋め立てなど道路に関する工事を行うときは、道路管理者の承認が必要です。



▲歩道の切り下げやガードレールの撤去

【主な乗り入れ基準】

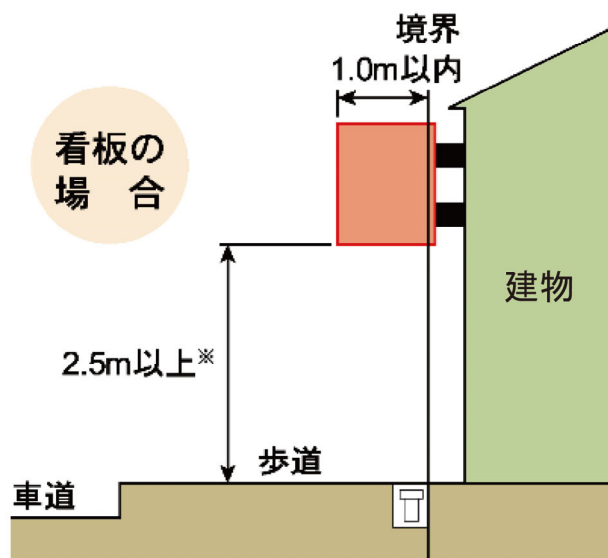
- ・自動車の乗入れ口は原則1箇所
- ・乗入れ口の相互の間隔は、原則10mを確保

車 種	乗入れ幅
乗用小型貨物自動車	4.0mまで
普通貨物自動車	4.0m～8.0m
大型及び中型貨物自動車	8.0m～12.0m

▲直角に進入する場合の乗入れ幅

2 道路の占用

- ◆ 看板、日除け、標識、足場等を設置するときは道路管理者の許可が必要です。また通行の支障となる歩道の置き看板、のぼり旗等は許可できません。



※車道の場合は4.5m以上



▽ 窓口はこちら

許認可業務	路線	管理区間	受付窓口
①自費道路工事 承認申請	国道 10号	中津市、宇佐市、杵築市、日出町	中津維持出張所
		別府市、大分市	大分維持出張所
②道路占用許可 申請	国道 210号	大分市、由布市（挾間町、庄内町）	
		日田市、玖珠町、九重町、由布市（湯布院町）	日田国道維持出張所

災害に備えて



風水害や土砂災害、地震など多様化する災害に備えるため、すみやかな情報提供や社会全体での支援と連携等に尽力し、災害に強い地域・大分を目指します。

防 災

地域への防災支援

災害対応支援

大規模災害時の応援等に関する協定

地方公共団体の対応能力を超えるような大規模災害の場合には、災害発生直後の自治体は被災者の対応に追われ、被害状況把握などが非常に困難となります。そのため事前に国、自治体の双方で災害対応の仕組みをルール化しておくことで、円滑な支援が可能になります。

九州地方整備局では管内市町村と応援に関する協定を締結しています。

- ① 所管施設の被害状況の把握
- ② 情報連絡網の構築
- ③ 現地情報連絡員（リエゾン）の派遣
- ④ 災害応急措置
- ⑤ その他必要と認められる事項

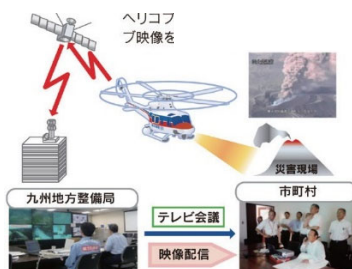
〔情報提供・共有〕

〔技術支援〕

〔災害対策用機械の派遣〕

市町村が管理する施設であってもその復旧支援が行えるよう市町村と協定を締結し
迅速な支援が行える体制を構築

情報提供・共有



ヘリコプター等による災害初期のライブ映像を自治体に情報提供します。

技術支援



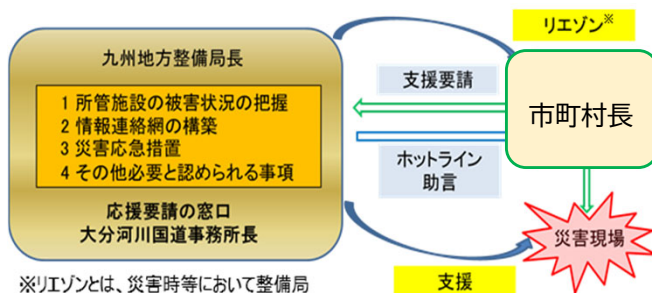
大規模な自然災害に際して、被災状況の把握や被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に実施します。

災害対策用機械の派遣



国土交通省が保有する災害対策用機械（防災ヘリコプター、排水ポンプ車、照明車、衛星通信車、遠隔操縦バックホウ等）を必要に応じ派遣します。

大分河川国道事務所の担当市町村



※リエゾンとは、災害時等において整備局職員を県・市町村へ派遣し相互の連絡調整を行い、迅速かつ的確な災害対策および災害支援を実施する仕組みです。

○大分河川国道事務所担当市町村(13市町村)

大分市、由布市、国東市、日田市、姫島村、豊後高田市、日出町、杵築市、九重町、宇佐市、玖珠町、別府市※、中津市※
(※他事務所と重複で担当)

○山国川河川事務所担当市町村(1市)

中津市

○佐伯河川国道事務所担当市町村(5市)

豊後大野市、竹田市、臼杵市、津久見市、佐伯市

○別府港湾・空港整備事務所担当市町村(1市)

別府市

防災情報の共有化等による連携強化

地方自治体等の関係機関や地域住民との間で防災情報等を共有し、連携体制の強化や地域の防災力向上に努めています。



大分地区地域防災連絡会

市町村への大規模災害時における支援に関して、体制の確認や情報の共有などを日頃から積極的に行うことにより、円滑な支援活動が行えるよう管内13の首長等をメンバーとして平成25年8月に設置しました。

大分県冬期道路交通確保対策調整会議・災害時交通マネジメント検討会

国道10号・210号における、積雪・凍結による交通障害などの雪寒対応や、災害時の復旧活動等に万全を期すため、国、県、沿線自治体、警察、消防、NEXCO等の関係機関が対面、Web会議で集まり、情報共有、連携方策の協議、意見交換などを行っています。



洪水予報連絡会、水防連絡会の開催

水害に対する危機管理体制の強化を図るため、毎年、出水期前に防災関係機関(国、県、市、報道、消防団等)が集まり、防災に関する諸問題について各機関の情報を共有しています。



重要水防箇所等の共同点検

堤防決壊等において、住民の避難をスムーズに行うために、堤防の危険箇所を再確認し、水防活動の対応方法、避難場所、主な資機材の備蓄場所等の確認を行うために防災関係者が一同に介して重要水防箇所の共同点検を実施しています。



河川情報モニター

河川に関する情報について、情報を受ける側の視点で点検をいただくとともに、地域住民の方への河川防災情報、防災意識の普及啓発を通じて、地域の防災力向上を図るため、平成20年9月より、大分川・大野川の河川情報モニターを設置しています。



水防災意識社会 再構築ビジョン

大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会

近年、全国各地で水害が頻発、激甚化する中、平成27年9月の関東・東北豪雨による被害を受け、国土交通省では「施設では防ぎきれない大洪水は発生するもの」との考えに立ち、社会全体でこれに備えるため、ハード・ソフト一体となった「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組を進めています。

大分川・大野川圏域では、大分市、竹田市、豊後大野市、由布市と大分県、国が共同して、「大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会」を設立し、ハード対策・ソフト対策を一体的・計画的に推進するため「減災のための取り組み方針」をとりまとめ、取り組みを推進しています。

減災のための目標【大分川・大野川(下流部)】

■5年間で達成すべき目標 産業・経済・人口の集積エリアを大規模水害から守るため「地域における総合的な防災力の向上」を目指す。

■上記目標達成に向けた3本柱の取り組み

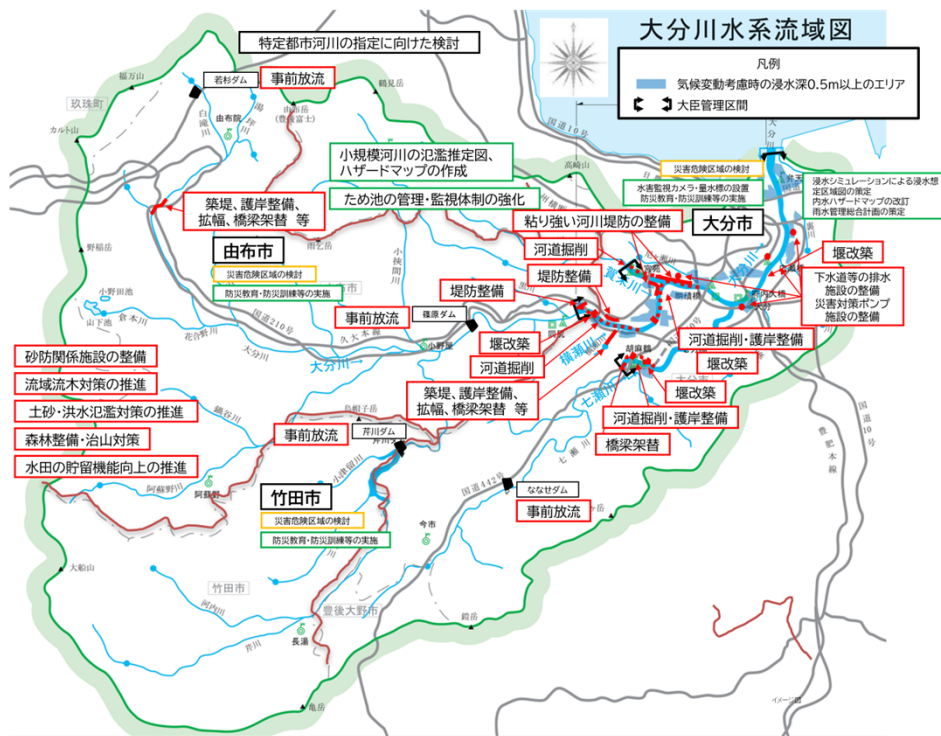
1. 浸水被害を想定した、地域単位での防災教育・避難訓練・水防活動の取組み
2. 自治体の早期判断を助け、避難行動を住民自らが行えるよう、きめ細やかな情報の提供
3. 洪水に対する社会経済活動の安定性を高め、一刻も早い回復を可能とする機能の整備と排水対策の取組み



大分川・大野川水系流域治水協議会

「大分川・大野川水系流域治水協議会」は、令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備えるため、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的として設立されています。令和2年度にハード・ソフト一体の事前防災対策を加速させるため「大分川・大野川水系流域治水プロジェクト」を策定。令和6年3月には気候変動の影響による降水量の増大に対して、早期に防災・減災を実現するため「流域治水プロジェクト2.0」として更新しました。

大分川水系流域治水プロジェクト【位置図】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
※流域治水プロジェクト2.0で新たに追加した対策については、今後河川整備基本方針及び河川整備計画の過程でより具体的な対策内容を検討する。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川掘削、護岸整備、堤防整備、堰改築、橋梁架替、粘り強い河川堤防の整備、既存施設の有効活用検討等
- ・校庭・公園・公共施設等の貯留施設整備検討
- ・住宅・事業所等における雨水貯留施設設置補助の推進・強化
- ・ため池の補強・有効活用
- ・下水道等の排水施設の整備
- ・下水道事業における雨水流出抑制施設の検討
- ・利水ダム等4ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、大分県、由布市、九州電力（株）など）
- ・水田の貯留機能向上の推進
- ・砂防関係施設の整備
- ・流域治水対策の推進
- ・土砂・洪水氾濫対策の推進
- ・森林整備・治山対策

※今後、関係機関と連携し対策検討

■被害対象を減少させるための対策

- ・災害危険区域の検討
- ・浄水場や水資源再生センター・公共施設の耐水化等による機能確保
- ・立地適正化計画の作成・見直し（防災指針の作成等）
- ・災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討
- ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実

※今後、関係機関と連携し対策検討

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○国・県・市町村・気象台

- ・水害監視カメラ・量水標の設置
- ・防災情報伝達の多量化的検討
- ・水防意識を高める防災教育、防災訓練等

○県・市町村

- ・小規模河川の氾濫推定図、ハザードマップの作成
- ・マイ・タイムラインの作成支援
- ・自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援

○国

- ・内外水一体リスクマップの作成
- ・洪水予測の高度化
- ・河川管理施設の遠隔化
- ・三次元管内図の整備
- ・報道機関への水位及び画像情報の提供
- ・危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの公開

○大分県

- ・ため池の管理・監視体制の強化（水位計・監視カメラの設置）

○大分市

- ・浸水シミュレーションによる浸水想定区域図の策定
- ・内水ハザードマップの改訂
- ・雨水管理総合計画の策定

○由布市

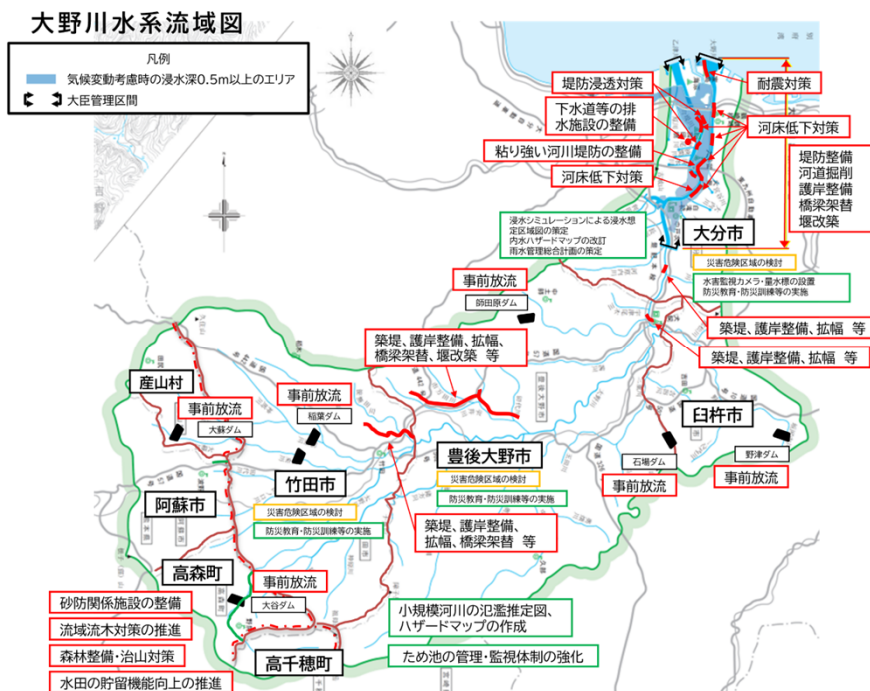
- ・防災行政無線、防災ラジオの有効活用

○気象台

- ・防災気象情報の周知・啓発

※今後、関係機関と連携し対策検討

大野川水系流域治水プロジェクト【位置図】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
※流域治水プロジェクト2.0で新たに追加した対策については、今後河川整備基本方針及び河川整備計画の過程でより具体的な対策内容を検討する。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川掘削、護岸整備、堤防整備、堰改築、橋梁架替、粘り強い河川堤防の整備、洪水調節施設の検討等
- ・校庭・公園・公共施設等の貯留施設整備検討
- ・住宅・事業所等における雨水貯留施設設置補助の推進・強化
- ・ため池の補強・有効活用
- ・下水道等の排水施設の整備
- ・下水道事業における雨水流出抑制施設の検討
- ・利水ダム等6ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：大分県、大分市、土地改良区など）
- ・水田の貯留機能向上の推進
- ・砂防関係施設の整備
- ・流域治水対策の推進
- ・森林整備・治山対策
- ・洪水調節施設等の検討

※今後、関係機関と連携し対策検討

■被害対象を減少させるための対策

- ・災害危険区域の検討
- ・浄水場や水資源再生センター・公共施設の耐水化等による機能確保
- ・立地適正化計画の作成・見直し（防災指針の作成等）
- ・災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討
- ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実

※今後、関係機関と連携し対策検討

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○国・県・市町村・気象台

- ・水害監視カメラ・量水標の設置
- ・防災情報伝達の多量化的検討
- ・水防意識を高める防災教育、防災訓練等

○県・市町村

- ・小規模河川の氾濫推定図、ハザードマップの作成
- ・マイ・タイムラインの作成支援
- ・自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援

○国

- ・内外水一体リスクマップの作成
- ・洪水予測の高度化
- ・河川管理施設の遠隔化
- ・三次元管内図の整備
- ・報道機関への水位及び画像情報の提供
- ・危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの公開

○大分県

- ・ため池の管理・監視体制の強化（水位計・監視カメラの設置）

○大分市

- ・浸水シミュレーションによる浸水想定区域図の策定
- ・内水ハザードマップの改訂
- ・雨水管理総合計画の策定

○気象台

- ・防災気象情報の周知・啓発

※今後、関係機関と連携し対策検討

過去の被災状況

概要

河川の被災(平成29年9月台風第18号災害)

河川

平成29年9月17日(日)に鹿児島県に上陸した大型の台風第18号は、宮崎県を通過し、日向灘を進み、高知県に再上陸しました。

台風の接近に伴い、大分県、宮崎県を中心に大雨となり、大分市内でも大野川下流部等で浸水被害が発生するなど大きな影響を及ぼしました。

また、大分県津久見市では道路の陥没や土砂崩れによって道路と鉄道が被災し、甚大な被害を及ぼしました。

道路



防災



乙津川左岸毛井地区浸水状況
(H29.9.17)



大分県津久見市大岩本線被災状況調査
(H29.9.20)

地域連携



大分川右岸宮崎地区(市道下郡宮崎大通り線)浸水状況
(H29.9.17)

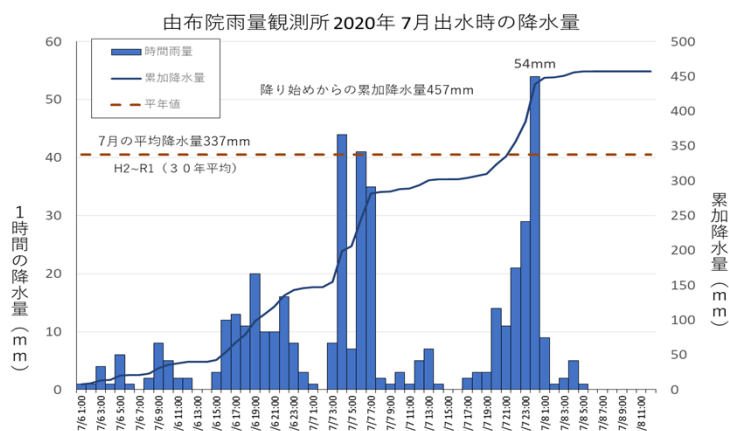
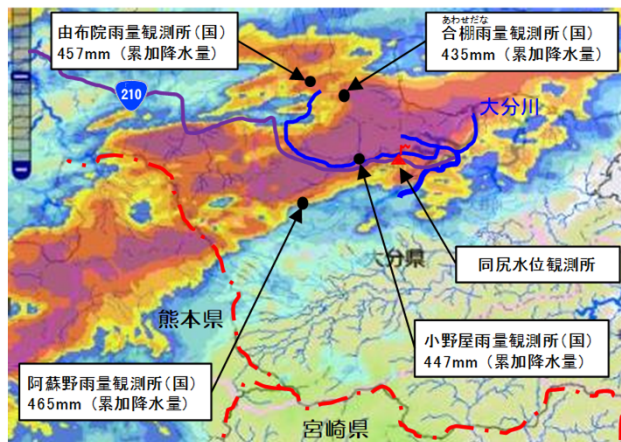


大野川右岸利光地区浸水状況
(H29.9.17)

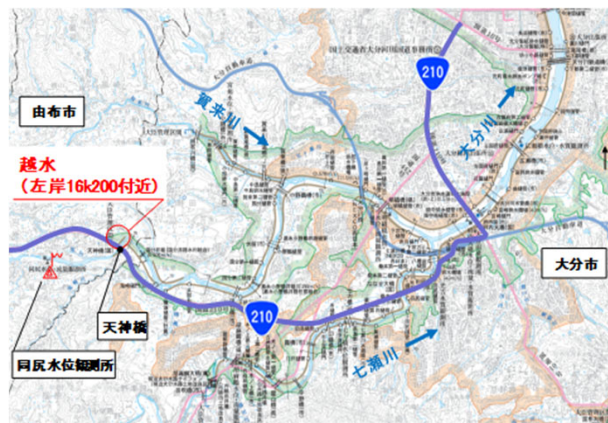
大分河川国道の歩み

河川の被災(令和2年7月豪雨)

令和2年7月豪雨では、7月7日(火)と8日(水)に連続して、線状降水帯により大分川流域は強い雨域がかかり、大分川上流の多くの雨量観測所で降り始めからの累加降水量が400mmを超える記録的な大雨を観測しました。



大分川16k200左岸(由布市挾間町下市地区)において、堤防からの越水を確認しました。



令和2年7月豪雨による塵芥や堆積土砂、堤防や排水施設の損傷等に対して緊急的な対応を進め、引き続き早期に台風期や今後の出水に備えるため樹木伐採や河道掘削を実施しました。

【豪雨後のこれまでの緊急的な対応】



流木等の撤去 (大分川明礪橋下流左岸等)



河川敷道路の土砂撤去 (大分川広瀬橋上流左岸等)

【予備費充当による今後の緊急的な対応 対策イメージ】

【整備前】(樹木伐採)



【整備後】



【整備前】(樹木伐採・土砂撤去)



【整備後】



道路の被災(令和2年7月豪雨) ※赤岩地区復旧事業

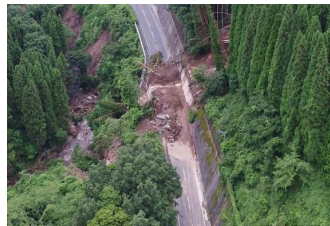
概要
令和2年7月6日(月)から7月8日(水)未明にかけ、梅雨前線の活発な活動により「線状降水帯」が形成されました。県内は7月平均降雨量の約1.6倍にあたる600mmの雨がたった2日間で降るといった記録的な大雨に見舞われました。

国道210号では豪雨により法面崩壊・道路の陥没等、50箇所以上の被災を受け、一時、約50kmにわたり通行止めを実施しました。

河川
なかでも日田市天瀬町赤岩地区では道路が崩壊、41日間にわたって全面通行止めになるなど大きな被害となりました。

令和2年8月17日から開始した終日片側交互通行は、2年6ヶ月ぶりの令和5年2月2日に終日片側交互通行の規制を解除しました。

法面崩壊(九重町野上)



道路崩壊(天瀬町赤岩)



復旧作業の状況



仮復旧後



本復旧後



防災情報の提供

概要

河川

道路

防災

地域連携

大分河川国道の歩み

32

ホームページによるリアルタイム提供

河川の防災情報

川の防災情報では、河川カメラ画像や水位、雨量の情報をリアルタイムで取得することができます。



道路の防災情報

大分河川国道事務所のホームページでは、事務所管内の道路情報をリアルタイムで取得可能です。



【リアルタイム道路情報】

道路情報提供システムで「通行規制」「道路気象」「レーダー雨量」「道路画像」を確認できます。



【道路ライブ映像】

大分河川国道事務所の道路監視カメラの映像について静止画にて確認することができます。
※災害等で事務所ホームページアクセスが集中した際、ホームページの閲覧に支障が生じる場合がありますのでご了承下さい。



SNS等による防災情報の提供

X(旧Twitter)による情報の提供

大分河川国道事務所公式X(旧Twitter(@milt_oita))では、河川・道路の防災情報のほか、工事の進捗状況、地域との連携の話題等さまざまな情報をリアルタイムで提供しております。

大分河川国道事務所
X(旧Twitter)



YouTube・CATVによる河川カメラ画像の配信

▶ YouTubeによるリアルタイム配信

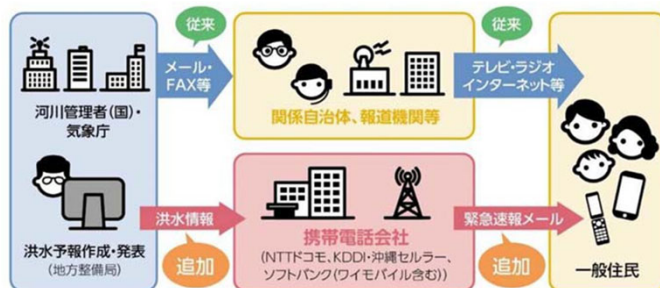


▶大分ケーブルテレコム(J:COM) ▶大分ケーブルネットワーク(OCN)にて公開



プッシュ型配信による洪水情報の提供

大分川と大野川の洪水情報を緊急速報メール(プッシュ型配信)で配信します。



※1「洪水情報」とは、指定河川洪水予報の氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。

※2「プッシュ型配信」とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。

わかりやすい河川・道路情報の表示

河川水位の危険度レベル表示や河川利用標識などの情報表示について、一般の方にも理解しやすいよう工夫しています。

川の標識のルール



川の標識がわかりやすくなるようデザインを工夫し、禁止は赤色、注意は黄色を使って色で分けます。一目でわかるように、統一した図柄を入れます。周りの景観を乱さないように、材料やデザインに配慮しています。

危険度レベルの表示



避難の基準となる水位など危険度レベルを示した水位表示板を橋脚等に設置し、川の水位をわかりやすくお知らせします。
(下段の項目を参照してください)

海拔表示シート設置

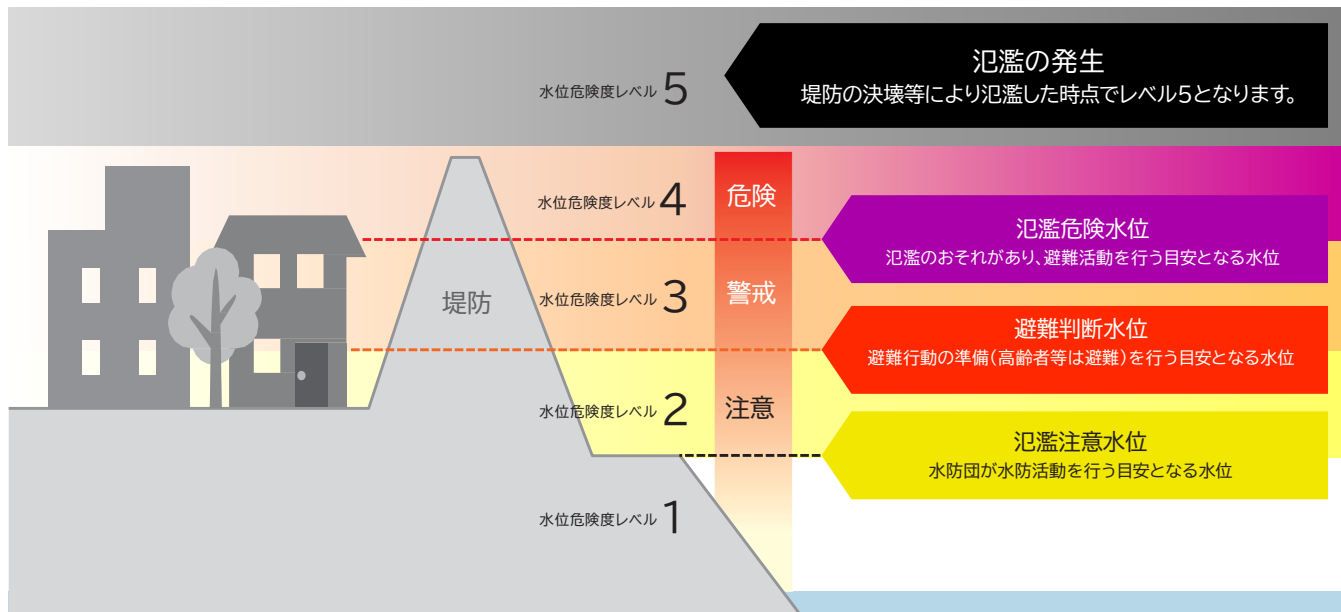


東日本大震災で甚大な被害をもたらした津波被害を踏まえ、津波被害を軽減するための対策の一つとして道路施設等に海拔情報を表示することにより、道路利用者に海拔情報を提供しています。

予報・警報

洪水予報について

大雨が降ると河川が氾濫する危険性が高くなります。このため、大分地方気象台と大分河川国道事務所では、大分川と大野川の水位危険度レベルに応じて洪水予報を発表しています。



地域と 手を取り合う



事業などに関する出前講座や子どもたちが楽しめる学習イベント、地域住民と協働で行う美化活動など、各地域の特色にあわせた様々な活動を行っています。

地域との交流や連携を通して、これからもより良いまちづくりに貢献していきます。

地域連携

学習機会の提供

地域や学生に川や道路、防災等に対する正しい知識や関心を持っていただくため、出前講座や環境学習、インターンシップなどを積極的に行っています。

出前講座

大分河川国道事務所が実施する事業や施策、川や道路、防災などに関することをもっと知り関心を持っていただくために、学校や企業等に出張し『出前講座』を実施しています。



環境学習

洪水の危険性や避難の重要性を知ること、身近な川の水質を知り、川への理解や河川愛護へのきっかけにさせていただくために地域住民・学校などと一緒に水質調査（簡易水質調査・水生生物調査）を実施しています。



インターンシップ

将来、国土交通省で働きたいと考える学生に、大分河川国道事務所がどのような仕事をしているかを知っていただくため、日常業務の体験の場を提供しています。



川に関する検討会

大分川や大野川流域の方々や川で活動する団体のみなさまとともに「川づくり・まちづくり・人づくり」について、語り・学び・交流し、河川の整備や管理に活かしています。

大分川・大野川学識者懇談会

大分川や大野川の河川整備事業について、点検及び必要に応じて河川整備計画(原案)に対する意見聴取や事業の評価をいただいています。



大分川・大野川河道管理環境検討委員会

「河川環境の整備と保全」の充実を図るため、河川内の河道掘削や樹木伐採に関して有識者から助言を受ける「大分川・大野川河道管理環境検討委員会」を開催し、その意見を踏まえて環境に配慮した河川整備や維持管理を実施しています。



河川協力団体

大野川水系では「乙津川水辺の楽校運営協議会」、大分川水系では「津留地区ふるさとづくり運動推進協議会」「ななせ交流会」が河川協力団体の指定を受け、地域に根ざした河川の維持、環境保全、啓発等の活動を実施しています。



河川協力団体制度とは

河川の維持、河川環境の保全などの河川の管理につながる活動を自発的に行っている民間団体等を『河川協力団体』として法律上位置付け、河川管理者と河川協力団体が充実したコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を構築することで、河川管理のパートナーとしての活動を促進し、地域の実情に応じた河川管理の充実を図ることを目的として制度化されました。

道に関わる3団体の連携

概要

河川

道路

防災

地域連携

大分河川国道の歩み

38

「三つの輪」のとりくみ

県内の道の駅・日本風景街道・道守大分会議では、それぞれが各活動を理解するとともに、今後の活動をより良くするため、「三つの輪」として連携し協働活動することで、それぞれの特性をより活かしていきます。

三者連携の一環として、被災者義援金やコロナに係る医療関係者支援等々の募金活動を道の駅で実施し、また毎年度三者によるシンポジウムを開催しています。

令和8年度においても、さらなる地域貢献を目指していきます。

休憩機能・情報交流機能・地域連携機能

地域活性化への
寄与・観光振興
への寄与



美しい景観づくり



R6.4.22 道の駅で美化活動in道の駅「ゆふいん」



第9回 語ろうみんなで! ティーパーティー3つの輪
「災害」と「道の駅」-3つの輪が今からできること-

道の駅

道路利用者や地域の方々のための「休憩機能」と「情報発信機能」、そして道の駅をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」、この3つの機能を併せ持つのが「道の駅」です。大分県内では26駅の「道の駅」が登録されています。(2026年4月現在)
2020年からは「道の駅」を第3ステージとして位置づけ、3つの取り組みを推進しています。

地域の子育てを応援する施設の整備などにより

- ・「道の駅」を世界ブランドとして新たなインバウンド観光拠点を目指す
- ・広域的な防災機能を担う「防災道の駅」制度の導入
- ・あらゆる世代が「道の駅」で活躍するための環境を提供する

広域的な防災拠点として大分県では、令和3年6月に道の駅ゆふいん、令和7年5月に道の駅あさじが「防災道の駅」として選定されました。

道の駅ゆふいん 整備状況



情報室



授乳室



防災倉庫

日本風景街道

「日本風景街道」とは、住民・NPO・企業などが主体となって行政と連携しながら、道を舞台に風景や自然・歴史・文化など、地域ならではの資源を活かした「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「観光の振興」を行っていく取り組みです。

おおいた海への道



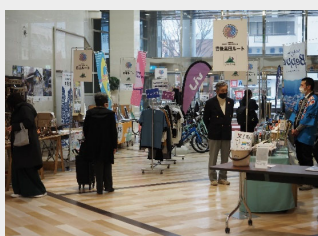
おおいた海への道は東の津久見市から西へ国東半島を回るルートであり、別府湾岸を中心とした美しい海辺の景観と歴史文化のコラボレーションを体験できます。

- ・「別府温泉と風景街道まちまち博」を開催
- ・「世間遺産(※)を巡るまち歩き」プロジェクト

※人々の生活に溶け込んだ風景の中から、素晴らしいもの(=世間遺産)を見つける



第6回日本世間遺産学会in別府



風景街道まちまち博

九州横断の道 やまなみハイウェイ



九州横断の道やまなみハイウェイは雄大なくじゅう連山、飯田高原などの大草原が広がり、ぐるっとくじゅう周遊道路や岡城址までの国道442号などの魅力的バイウエイで構成する地域がフィールドです。

- ・インバウンド対応のためのモニターツアー
- ・地域の子供たちとともにミュージカルを開催



ファムツアーによるPR



油屋熊ハミュージカル

道守大分会議

九州で「道」に関するさまざまな活動を行う人々や団体で構成する民主体の任意団体で、民と行政との「協働」を基本に活動し、「道」を舞台に、あるいはテーマに様々な活動を行っている人々を「道守」と名付け、その行動を「道守活動」と呼んでいます。

道守大分会議では、道守活動を行っているNPO、市民団体、個人、企業等がネットワークを形成し、160団体、約7,500名（令和6年4月現在）が道路清掃等のボランティア活動や情報発信を行なうことで交流しています。

主な活動

- 道の清掃美化活動
- 花や樹木育成・手入れ
- 道の歴史・文化の発掘・継承・活用
- 道を利用したまちづくり など
- 県内初の「道路協力団体」に指定された団体としての活動



平成31年2月25日
「大分ブルスポーツチーム
別大国道マイツリー植樹式」



令和元年9月24日
「西大分地区ラグビーWC
おもてなし花壇」



令和6年4月22日
「道の駅ゆふいんで美化活動」



令和6年10月5日
「やまなみハイウェイ斉清掃活動」



令和8年1月31日
「別大毎日マラソン大会前日の一斉清掃」

ボランティア・サポート・プログラム(VSP)

国道の清掃美化活動を行う地域や企業の皆さんと共に快適な道づくりを進めるため、各ボランティア団体と「ボランティア・サポートプログラム」(VSP)協定を締結して活動を支援します。

VSP協定団体は25団体（令和8年4月現在）を数え、各団体においてゴミ拾いや植栽帯の整備などの活動を実施しています。



VSP協定団体(顕徳町老人会デウスクラブ)の活動状況活動状況

✕ 乇 欄

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

発足100年に
むけて

大分河川国道事務所は、昭和4年に大野川改修事務所として発足以来、幾多の変遷を経ながら97年の歴史を歩んできました。

大分河川国道の歩み

大分河川国道事務所の歴史

概要

事務所の動き

*国内・県内の動き

- S 4. 6 大野川改修事務所 設置
*世界恐慌始まる
- S 7. 6 大分国道改良事務所 設置
- S 9. 4 大分国道改良事務所 移転
11 *久大本線、日田天ヶ瀬間
開通で全線開通
- S 16. 4 大分川改修事務所設置
- S 18. 3 大分国道改良事務所 廃止
4 大分川改修事務所と
大野川改修事務所を統合し
大分工事事務所となる
- 11 内務省下関土木事務所を
九州土木出張所に改称
- S 20. 8 *太平洋戦争が終戦
1 大分工事事務所は大分川改修事務
所と大野川改修事務所に分離
- S 22. 5 *日本国憲法施行
6 大分川改修事務所と
大野川改修事務所を統合し
大分工事事務所となる
- S 23. 1 内務省管制廃止により、総理庁建
設院九州地方建設局大分工事事務
所となる
- 5 *大分大学の設置決まる
- 7 建設省設置に伴い建設省九州地方
建設局大分工事事務所となる
(大分、鶴崎、戸次出張所を含む)
- 9 大分工事事務所は大分川工事事務
所と大野川工事事務所に分離
- S 25.10 大分川工事事務所と
大野川工事事務所を統合し
大分工事事務所となる
- S 26. 6 大分国道出張所を設置(昭和36年
5月大分維持出張所に名称変更)
- S 34. 8 *NHK大分放送局テレビ開局
- S 39. 7 大分工事事務所の中津工事事務
所を統合(中津、中津維持出張所
を含む)
- 10 *第18回東京オリンピック開催
- S 40. 4 玖珠国道出張所を設置
*新河川法施行、一級水系指定
- S 41. 4 日田国道出張所を設置
9 *大分国体、別府市、日田市で開催
- S 45. 3 *日本万博博覧会開催(大阪)
- S 46. 4 佐伯工事事務所から竹田国道出張
所を統合し、竹田国道維持出張所
に名称変更、戸次出張所庁舎移転
- 10 *新大分空港が移転開港
- S 47. 5 竹田維持出張所及び佐伯維持出張
所を佐伯工事事務所に移管
*沖縄、日本に復帰
- S 48. 4 玖珠国道出張所を廃止
- S 49. 2 *日豊海岸国立公園決定
3 機械設備工場閉鎖
- S 54.11 *平松知事「一村一品運動」を提起
- S 61. 3 戸次出張所を廃止
4 戸次出張所と鶴崎出張所を統合し
大野川出張所に名称変更
- S 62. 4 *JR 民営で新11の会社発足
- S 63. 4 日田国道出張所を日田国道維持出張所
に名称変更
- S 64. 1 *昭和天皇崩御(1月7日)
- H 1. 1 *平成元年始まる(1月8日)
- H 3. 4 *ハーモニーランド(日出町)オープン
6 *雲仙岳で火砕流が連続発生

河川事業

青字:ダム事業

- S 4. 6 大野川改修事業に着手
- S 16. 4 大分川改修事業に着手
- S 23. 4 山国川改修事業に着手
- 
- 昭和27年 山国川恒久橋工事
- 
- 昭和28年 大野川護岸工事
- 
- 昭和35年
山国川下宮永床止工事
- S 37. 3 大野川派川乙津越流堤工事完成
- S 49. 4 大野川上流部(12k000~16k300)
直轄編入変更
- S 50. 3 大分川派川裏川締切工事完成
- S 53. 4 大分川ダム実施計画調査に着手
- S 58. 4 宮永堰実施計画調査に着手
- S 59. 8 山国川小祝地区特殊堤工事完成
- S 60. 4 中津大堰建設工事に着手
- S 61. 3 大分川今津留引堤工事完成
- S 62. 3 大野川支川判田川の改修工事完成
4 大分川ダム建設事業に着手
- S 63. 4 山国川本川上流部(15K300~
27K400)直轄編入変更
12 大分川ダム基本計画の告示
- H 2.11 中津大堰(平成大堰)完成
- H 4. 3 大野川古川水門改築工事完成

道路事業

緑字:高速道路関連

- 
- 明治のころの大分駅前通
- S 14. 3 大分~別府間7.4kmの国道改修工事
竣工
- 
- 昭和初期のコンクリート舗装工事
- S 37. 4 一級国道57号を大分県から移管
- S 39. 3 一級国道10号中津~日出間
(L=58km)一次改築完了
- S 40. 3 一般国道10号大分~中の谷間
(L=42.9km)一次改築完了
4 一般国道210号を大分県から移管
- S 42. 3 一般国道10号中の谷~宮崎県境
(L=40km)一次改築完了
3 一般国道212号の一部を大分県から
権限代行により引き継ぐ
5 一般国道57号改築工事を
佐伯工事事務所に移管
- S 47. 4 別大路面電車廃止
- S 48. 3 一般国道210号日田~湯布院間
(L=56km)一次改築完了
4 一般国道10号中の谷トンネル
(有料道路L=3.9km)を道路公団から
移管
- S 53. 3 一般国道10号大分拡幅石地区、金池
地区(L=2.0km)二次改築工事竣工
- S 55. 3 一般国道10号府内大橋及び二次改築
工事完成
4 一般国道387号の一部を大分県から
権限代行により引き継ぐ
- S 56. 7 一般国道212号の権限代行区間の
事業完成により大分県に引き継ぐ
11 一般国道10号大分南バイパス白滝橋
(L=292m)完成
- S 57. 3 一般国道10号別大拡幅日出地区
(L=5.1km)二次改築工事完成
- S 59. 3 一般国道10号別大拡幅亀川地区
(L=3.6km)二次改築工事完成
4 同亀川地区(L=3.6km)供用
- S 61. 3 一般国道10号大分南バイパス
- S 62. 8 一般国道10号大井手地区
(L=0.95km)供用
- S 63. 5 一般国道10号中津バイパス
(L=8.33km)供用
- H 1. 7 九州横断自動車道 湯布院~別府
(L=27.2km)開通 ※県内初の高速道路
- H 2. 3 九州横断自動車道 福岡県朝倉~日田
(L=22.5km)開通
- H 2. 9 一般国道10号瀬瀬川の架替完成
(L=8.33km)供用
- H 4. 4 一般国道10号旦の原交差点
改良事業着手
12 九州横断自動車道 別府~大分
(L=14.8km)開通

歴代事務所長

- S 23. 7[1948] 田中 寛二
↓
S 24. 3[1949] 久世 英明
↓
S 28. 4[1953] 宮下 寿雄
↓
S 30. 8[1955] 河角 鶴夫
↓
S 31. 4[1956] 桑幡 五郎
↓
S 36. 11[1961] 日向野 良世
↓
S 38. 8[1963] 伊賀上 季明
↓
S 41. 7[1966] 宮下 義夫
↓
S 44. 7[1969] 瀬戸 充
↓
S 47. 4[1972] 長井 登
↓
S 48. 6[1973] 今山 健
↓
S 51. 8[1976] 桑田 博文
↓
S 55. 8[1980] 光岡 毅
↓
S 58. 4[1983] 針貝 武紀
↓
S 60. 9[1985] 米倉 俊治
↓
S 63. 4[1988] 吉川 勝敏
↓
H 2. 7[1990] 中村 亮
↓
H 4. 4[1992] 辻 英夫

河川

道路

防災

地域連携

大分河川国道の歩み

事務所の動き

*国内・県内の動き

H 7. 1 *阪神・淡路大震災発生

H 10. 2 *長野冬季オリンピック開催

H 12. 4 *立命館アジア太平洋大学
(別府市)開校H 13. 1 国土交通省 九州地方整備局
大分工事事務所となる
3 *2002年ワールドカップ会場となる
大分スポーツ公園総合競技場
(ビッグアイ)完成
9 *アメリカで同時多発テロ発生(9.11)

H 14. 6 *日韓共催ワールドカップ開催

H 15. 4 大分河川国道事務所に名称変更

4 中津出張所を山国川河川事務所に移管

H 16. 4 *高崎山おさる館、うみたまこ
(大分市)完成

H 17 *平成の市町村合併

H 18.10 *九重"夢"大吊橋(九重町)完成

H23. 3 *東日本大震災発生(3.11)

4 *大分市市制施行100周年

7 *地上デジタル放送に完全移行

H24. 3 *JR大分駅が完全高架化

H25. 7 *ホルトホール大分(大分市)完成

H27. 4 *大分県立美術館(大分市)完成

H28. 4 *熊本地震発生

H30. 9 *一般国道10号大分市大字中判田
路面下洗堀により被災

R 1. 5 *令和元年始まる(5.1)

9 *ラグビーワールドカップ2019開催

R 2. 4 *新型コロナウイルス感染症により
緊急事態宣言が全国に発出7 *令和2年7月豪雨により
国道210号赤岩地区などが被災

R 3. 7 *東京オリンピック開催

R 6. 1 *能登半島地震(1.1)

8 *日向灘を震源とする地震(8.8)
により「南海トラフ地震臨時情報
(巨大地震注意)」初発表R 7. 7 *トカラ列島近海を震源とする
地震

8 *日本初の女性首相(高市早苗)

河川事業

青字:ダム事業

H 5.11 大分川ダム建設に伴う用地調査着手

H 7. 3 山国川下宮永排水機場改築工事完成
4 大分川ダム建設に伴う工事用道路着手

H 9. 3 大分川支川七瀬川市捷水路工事完成

H 11. 3 大野川防災ステーション工事完成

12 大野川水系河川整備基本方針策定

H 12. 2 大分川ダム建設事業に伴う
損失補償基準協定書調印11 大野川水系河川整備計画
(直轄管理区間)策定

H 14. 3 大分川ニヶ瀬排水機場完成

4 大分川ダム工事事務所設置により移管

H 15. 4 山国川直轄管理区間を
山国川河川事務所に移管

8 大野川迫排水機場完成

H 18. 2 大分川水系河川整備計画策定

H 19. 3 乙津川鴨園排水機場完成

7 大分川支川七瀬川下田尻排水機場
完成

8 大分川宮崎排水機場完成



H 22.10 小畑橋(大分川水系賀来川)完成

H 23. 3 大野川大谷樋門完成

H 26.12 大野川水系河川整備計画変更

H 29. 3 由布川橋(大分川水系賀来川)完成

H 30. 9 賀来川東院・宮苑地区築堤工事完成

H 31. 2 大野川利光地区特殊堤工事完成

R 1.11 大分川ダム本体完成

R 2. 8 大野川宮谷樋門完成

R 5. 4 大分川総合水系環境整備事業に着手
12 大野川水系河川整備基本方針変更R 8. 3 大分川水系河川整備基本方針変更
大野川水系河川整備計画変更

道路事業

緑字:高速道路開通

H 5. 3 一般国道10号宇佐道路(L=5.1km)供用

3 一般国道10号宇佐別府道路(L=18.1km)供用

4 一般国道10号大分南バイパス(L=1.6km)供用

12 一般国道210号日田バイパス(L=3.1km)供用

H 6.12 一般国道10号宇佐別府道路(L=18.1km)供用

H 7. 3 一般国道387号宇佐地区(L=0.96km)供用

3 九州横断自動車道 日田～玖珠(L=24.7km)開通

H 8. 3 九州横断自動車道 玖珠～湯布院(L=21.8km)開通

※ 九州7県都が高速道路でつながる

3 一般国道10号上尾トンネル

(下り線L=0.694km)供用

11 九州横断自動車道 大分～大分米良

(L=7.8km)開通 ※ 大分自動車道全通

12 一般国道10号大分南バイパス(L=3.86km)4車供用

H 9.12 一般国道10号別大拡幅(田ノ浦～仏崎地区

L=1.9km)4車暫定供用

H 10. 4 一般国道10号古国府拡幅事業着手

H 11. 4 一般国道210号(水分峠～湯布院IC入口、

木上バイパス) L=8.42kmを直轄編入

11 東九州自動車道 大分米良～大分宮河内

(L=6.2km)開通 ※ 東九州道の初開通

12 一般国道10号上尾トンネル上り線 L=0.663km 供用

H 12. 4 一般国道210号天瀬改良の事業着手

H 13.12 東九州自動車道 大分宮河内～津久見

(L=21.0km)開通

H 14. 3 一般国道10号日出バイパス(L=9.0km)供用

3 一般国道10号旦の原交差点改良(L=0.99km)供用

H 15. 2 一般国道10号別大拡幅(田ノ浦～西大分

L=3.9km)6車線供用

9 道の駅ゆふいん(直轄一休型)完成

H 19. 3 一般国道210号由布市湯布院町～大分市木上

(L=32.8km)が直轄区間に編入

3 一般国道387号柿ノ木峠道路(L=12.6km)が

全線供用【直轄権限代行】

4 中津日田道路 三光本耶馬溪道路(L=12.8km)の

事業着手【直轄権限代行】

H 20. 6 東九州自動車道 津久見～佐伯(L=13.0km)開通

H 22. 3 一般国道10号中津バイパス(L=4.2km)

全線4車線供用

H 24. 2 一般国道10号別大国道(別大地区)

全線6車線供用

11 一般国道210号田原拡幅(L=1.1km)

全線4車線供用

H 25. 1 一般国道10号古国府拡幅(L=0.6km)

全線4車線供用

2 東九州自動車道 蒲江～北浦(L=14.2km)開通

3 一般国道10号数戸橋の架替完成

H 26. 3 一般国道10号別大拡幅(日出地区 L=1.2km)

全線4車線化供用

上記区間の供用により速見郡日出町～

大分市生石間(L=22.6km)の拡幅事業が完了

4 一般国道10号高江拡幅(L=2.8km)事業着手

H 27. 2 大野竹田道路 大野～朝地(L=6.3km)完成

2車線供用

3 東九州自動車道 豊前～宇佐(L=21.1km)開通

3 東九州自動車道 佐伯～蒲江(L=20.4km)開通

※ 大分県内区間全通

H 28. 4 一般国道210号 横瀬拡幅(L=1.5km)の事業着手

3 東九州自動車道 椎田南～豊前(L=7.2km)開通

※ 北九州～大分～宮崎間全通

7 道の駅慈恩の滝くす(直轄一休型)完成

H 30.12 天瀬改良事業(L=1.0km)完成

H 31. 3 中津日田道路 三光本耶馬溪道路中津～田口

(L=2.8km)完成【直轄権限代行】

3 道の駅ゆふいん(直轄一休型)リニューアル

4 一般国道210号川下改良(L=1.1km)事業着手

R 4. 1 中九州横断道路(大分～犬飼)間

計画段階評価着手

R 5. 2 一般国道210号川下改良(L=1.1km)事業着手

R 6. 3 中津日田道路 三光本耶馬溪道路

田口～青の洞門・羅漢寺(L=5.3km)完成

【直轄権限代行】

7 道の駅たのうらら(直轄一休型)完成

歴代事務所長

H 4. 4[1992]

辻 英 夫

H 6. 7[1994]

菅 原 信 二

H 8.11[1996]

中 村 稔

H 11. 7[1999]

上 田 敏

H 13. 8[2001]

大 塚 俊 介

H 16. 7[2004]

長 太 茂 樹

H 18. 7[2006]

西 尾 崇

H 20. 8[2008]

谷 村 昌 史

H 22. 4[2010]

奥 田 秀 樹

H 25. 4[2013]

稲 田 亮

H 27. 4[2015]

久 田 成 昭

H 29. 4[2017]

今 田 一 典

H 31. 4[2019]

樋 口 尚 弘

R 4. 4[2022]

河 崎 拓 実

R 6. 4[2024]

谷 川 征 嗣

R 8. 4[2026]

伊 藤 浩 和

1:200,000

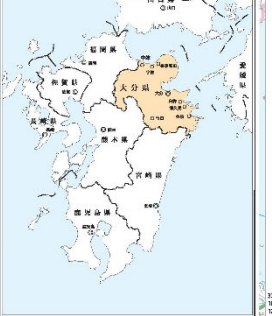




大分都市圏道路網図

- 凡 例
- 高速道路
 - 主要地方道
 - 一般国道
 - 4車線以上
 - 2車線

位置図



大分県の市町村別面積と人口

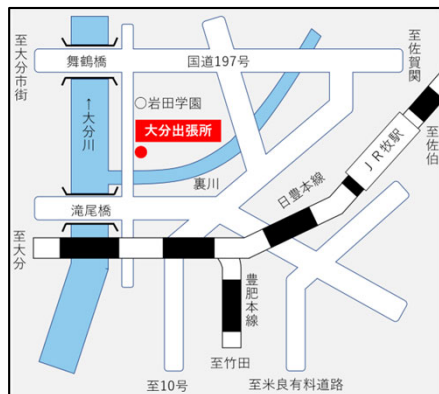
市町村名	面積 (km ²)	総人口	男性人口 (人)	女性人口 (人)
大分市	6,340.70	1,268,000	620,080	647,920
中津市	5,702.48	1,043,323	490,316	553,007
臼杵市	6,882.22	90,277	44,062	46,215
大分市	502.39	472,229	227,189	245,040
中津市	1,250.4	112,954	51,332	61,622
臼杵市	491.44	81,384	39,970	41,414
大分市	6,965.03	9,951	28,387	31,254
臼杵市	503.14	6,957	29,022	33,675
大分市	201.20	34,008	15,970	18,038
大分市	75.48	14,832	6,882	7,950
大分市	477.53	18,704	8,765	9,939
大分市	206.34	21,569	10,345	11,224
大分市	289.08	28,264	12,770	15,494
大分市	430.05	52,477	23,994	28,483
大分市	631.14	31,635	14,793	16,842
大分市	319.32	32,286	15,325	16,961
大分市	191.10	24,785	11,601	13,184
大分市	1,099	1,544	722	822
大分市	0.99	1,544	722	822
大分市	73.28	27,382	13,085	14,297
大分市	73.28	27,382	13,085	14,297
大分市	567.97	21,051	10,255	10,796
大分市	271.37	7,920	3,780	4,140
大分市	2,989.0	13,425	6,475	6,950

道路表

No.	道路名称	No.	主要地方道	No.	主要地方道
118	大分県道第118号	119	大分県道第119号	120	大分県道第120号
121	大分県道第121号	122	大分県道第122号	123	大分県道第123号
124	大分県道第124号	125	大分県道第125号	126	大分県道第126号
127	大分県道第127号	128	大分県道第128号	129	大分県道第129号
130	大分県道第130号	131	大分県道第131号	132	大分県道第132号
133	大分県道第133号	134	大分県道第134号	135	大分県道第135号
136	大分県道第136号	137	大分県道第137号	138	大分県道第138号
139	大分県道第139号	140	大分県道第140号	141	大分県道第141号
142	大分県道第142号	143	大分県道第143号	144	大分県道第144号
145	大分県道第145号	146	大分県道第146号	147	大分県道第147号
148	大分県道第148号	149	大分県道第149号	150	大分県道第150号
151	大分県道第151号	152	大分県道第152号	153	大分県道第153号
154	大分県道第154号	155	大分県道第155号	156	大分県道第156号
157	大分県道第157号	158	大分県道第158号	159	大分県道第159号
160	大分県道第160号	161	大分県道第161号	162	大分県道第162号
163	大分県道第163号	164	大分県道第164号	165	大分県道第165号
166	大分県道第166号	167	大分県道第167号	168	大分県道第168号
169	大分県道第169号	170	大分県道第170号	171	大分県道第171号
172	大分県道第172号	173	大分県道第173号	174	大分県道第174号
175	大分県道第175号	176	大分県道第176号	177	大分県道第177号
178	大分県道第178号	179	大分県道第179号	180	大分県道第180号
181	大分県道第181号	182	大分県道第182号	183	大分県道第183号
184	大分県道第184号	185	大分県道第185号	186	大分県道第186号
187	大分県道第187号	188	大分県道第188号	189	大分県道第189号
190	大分県道第190号	191	大分県道第191号	192	大分県道第192号
193	大分県道第193号	194	大分県道第194号	195	大分県道第195号
196	大分県道第196号	197	大分県道第197号	198	大分県道第198号
199	大分県道第199号	200	大分県道第200号	201	大分県道第201号
202	大分県道第202号	203	大分県道第203号	204	大分県道第204号
205	大分県道第205号	206	大分県道第206号	207	大分県道第207号
208	大分県道第208号	209	大分県道第209号	210	大分県道第210号
211	大分県道第211号	212	大分県道第212号	213	大分県道第213号
214	大分県道第214号	215	大分県道第215号	216	大分県道第216号
217	大分県道第217号	218	大分県道第218号	219	大分県道第219号
220	大分県道第220号	221	大分県道第221号	222	大分県道第222号
223	大分県道第223号	224	大分県道第224号	225	大分県道第225号
226	大分県道第226号	227	大分県道第227号	228	大分県道第228号
229	大分県道第229号	230	大分県道第230号	231	大分県道第231号
232	大分県道第232号	233	大分県道第233号	234	大分県道第234号
235	大分県道第235号	236	大分県道第236号	237	大分県道第237号
238	大分県道第238号	239	大分県道第239号	240	大分県道第240号
241	大分県道第241号	242	大分県道第242号	243	大分県道第243号
244	大分県道第244号	245	大分県道第245号	246	大分県道第246号
247	大分県道第247号	248	大分県道第248号	249	大分県道第249号
250	大分県道第250号	251	大分県道第251号	252	大分県道第252号
253	大分県道第253号	254	大分県道第254号	255	大分県道第255号
256	大分県道第256号	257	大分県道第257号	258	大分県道第258号
259	大分県道第259号	260	大分県道第260号	261	大分県道第261号
262	大分県道第262号	263	大分県道第263号	264	大分県道第264号
265	大分県道第265号	266	大分県道第266号	267	大分県道第267号
268	大分県道第268号	269	大分県道第269号	270	大分県道第270号
271	大分県道第271号	272	大分県道第272号	273	大分県道第273号
274	大分県道第274号	275	大分県道第275号	276	大分県道第276号
277	大分県道第277号	278	大分県道第278号	279	大分県道第279号
280	大分県道第280号	281	大分県道第281号	282	大分県道第282号
283	大分県道第283号	284	大分県道第284号	285	大分県道第285号
286	大分県道第286号	287	大分県道第287号	288	大分県道第288号
289	大分県道第289号	290	大分県道第290号	291	大分県道第291号
292	大分県道第292号	293	大分県道第293号	294	大分県道第294号
295	大分県道第295号	296	大分県道第296号	297	大分県道第297号
298	大分県道第298号	299	大分県道第299号	300	大分県道第300号

大分川水系・大野川水系・ななせダムに関するお問い合わせ

河川名	起点・終点	通過市町村	担当出張所
大分川水系	河口から天神橋(由布市挾間町)まで 大分川合流点から宮苑井堰まで 大分川合流点から旧田吹橋跡まで	大分市・由布市 大分市 大分市	大分出張所
大野川水系	河口から19km上流付近 河口から大野川分派点まで 大野川合流点から昆布刈橋まで 判田川合流点から判田橋まで	大分市 大分市 大分市 大分市	大野川出張所



大分出張所
〒870-0936 大分市岩田町1-12-32
TEL097-558-7142 または 097-546-1510



大野川出張所
〒870-0122 大分市大字丸亀419番2
TEL097-527-2549 または 097-546-1511



ななせダム管理庁舎
〒870-1213 大分市大字下原1546-4
TEL097-588-5001

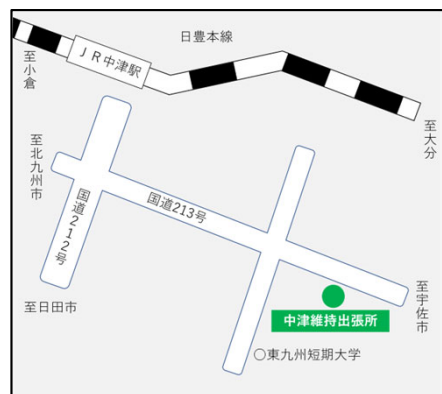
国道10号・210号に関するお問い合わせ

号線	起点・終点	通過市町村	担当出張所
10号	中津市三光佐知 ～大分市大字上戸次字川原	中津市、宇佐市、杵築市、日出町 別府市、大分市	中津維持出張所 大分維持出張所
210号	日田市大字川下 ～大分市大字宮崎	日田市、玖珠町、九重町、由布市 (湯布院町) 由布市(庄内町、挾間町)、大分市	日田国道維持出張所 大分維持出張所

道路の異状を
発見したら…
緊急通報 #9910
道路緊急ダイヤル 24時間受付
道に関する
ご意見・ご相談は
道の相談室
TEL 092-672-5614 受付時間 月～金 9:30～17:00
FAX 092-476-3514 (土日祝日および年末年始は除く)



大分維持出張所
〒870-0844 大分市古国府6-3-20
TEL097-543-2030 または 097-546-1517



中津維持出張所
〒871-0012 中津市大字宮夫字無生227-2
TEL0979-22-4855 または 097-546-1523



日田国道維持出張所
〒877-0037 日田市若宮町338
TEL0973-23-8143 または 097-546-1527



国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所

〒870-0820 大分県大分市西大道一丁目1番71号
TEL:097-544-4167 FAX:097-546-1326
E-mail:gsr-oita@ki.mlit.go.jp
HP:http://www.gsr.mlit.go.jp/oita/
X(旧Twitter):http://twitter.com/mlit.oita



(旧Twitter)

